

リフォームを、たのしもう。

NEW

自分でできる

わが家のお手入れ





03010
2006.12·6000·08

セキスイハイム®

積水化学工業株式会社
住宅カンパニー

〒105-8450
東京都港区虎ノ門2-3-17
（虎ノ門2丁目タワー）
http://www.harmonate-town.com

リフォームを、たのしもう。
セキスイファミエス

●ご相談・お問い合わせは——

住まいのメンテナンスカレンダー

**部位ごとに、自分でできるお手入れや点検、
そして取り替え(塗り替え)の目安を一覧表にしました。
メンテナンスのタイミングを心得ておきましょう。**

	部位・部品	お手入れ・点検の目安	取り替え・塗り替えの目安
玄関	木製ドア	週1回からぶき、月2回ワックスがけ	4〜5年で塗り替え、10年程度で取り替え
	金属製ドア	汚れたら水洗い、月1回ワックスがけ	8〜12年で塗り替え
	ポーチ	年2回キズ・サビを点検	8〜12年で塗り替え
洋室・階段	フローリング	2〜3ヶ月、少なくとも半年に1回ワックスがけ	不具合部を張り替え
	ソフトフロア	月1回ワックスがけ	〃
	カーペット	汚れたらクリーニング	6〜10年で張り替え
	壁クロス	年1回、できれば季節に1回水ぶき	6〜10年で張り替え
和室	畳	汚れたら固絞りの雑巾で水ぶき	2〜4年で裏返し、5〜8年で取り替え
	ふすま	週1回ハタキがけ	5〜7年で張り替え
障子	障子	週1回ハタキがけ	1〜3年で張り替え
室内建具	ドアパネル	週1回からぶき、月1〜2回クリーナー	不具合が出たら取り替え
	ドアノブ	年1〜2回注油	6〜10年で取り替え
勝手口ドア	金属製ドア	月1回 蝶番・ストッパーを点検	8〜12年で塗り替え
キッチン	ガスレンジ	使用のつど掃除・点検	1〜2年で電池交換、8〜10年で本体取り替え
	換気扇・レンジフードファン	月1回部品をはずして掃除	8〜10年で取り替え
	排水口	週1回部品をはずして掃除	
浴室	バスユニット	使用のつど掃除	15〜20年で取り替え
	給湯器・温水器	月1回室外機も含めて点検	8〜10年で取り替え
トイレ・洗面	便器	使用のつど掃除	
	洗面台	〃	
窓	サッシ・ガラス	週1回ハタキがけ、月1回お湯ぶき	
	戸車・クレセント	年1〜2回可動部に注油	6〜10年で取り替え
網戸	網	週1回ハタキがけ、夏前にはずして洗う	6〜10年で張り替え
	戸車	年1〜2回可動部に注油	6〜10年で取り替え
雨戸・シャッター	雨戸	年1〜2回水洗いとワックスがけ	
	戸車	年1〜2回可動部に注油	6〜10年で取り替え
カーテン・ブラインド	カーテン	年1回(レースは半年に1回)洗濯	
	ブラインド	月1回水ぶき	不具合が出たら取り替え
照明	カバー	月1回洗剤ぶき	
	ランプ	月1回からぶき	白熱灯は切れたら交換 蛍光灯はチラつき、黒ずみが出たら取り替え
外まわり	外壁	年2回水洗い、キズ・カビもチェック	※
	バルコニー手すり	年2回キズ・カビをチェック	8〜12年で塗り替え
	バルコニー床	月1回床を掃除	8〜10年で張り替え
	浄化槽	維持管理契約に基づき、専門の業者が定期点検	機械部分は7〜10年で取り替え

※外壁や屋根の塗り替え時期は、住宅タイプによっても大きく異なります。お手元の「お手入れ読本」をご覧になるか、またはファミエスにご確認ください。
※ここに記載した「取り替え」や「塗り替え」の時期は、あくまで目安です。建築時期や立地条件により、最適の時期が異なる場合があります。
※設備類についても、使用頻度やお手入れ状況などで「取り替え」の時期が異なる場合があります。
※このカレンダーに記載されていない部位・設備については、お手元の「お手入れ読本」「取扱説明書」をご参照ください。



わが家をより長持ちさせるために。

住まいには、
プロによる定期的な点検や
メンテナンスも
もちろん必要です。
でも、何より大切なのは
お住まいの方の
ふだんのお手入れ。
そこで、住まいの部位ごとに、
そして素材別に、
もっとも適したお手入れ法と
自分でできる補修法を
イラスト入りで
まとめました。
この冊子を参考に、
まず自分でできることから
始めてみましょう。

本誌は、暮らしと住まいの情報誌「ハーモネート」に掲載のお手入れ情報をまとめた「自分でできるわが家のお手入れ」の改訂版です。
従来の冊子に情報を追加し、さらに読みやすく整理しました。お手元の「お手入れ読本」とともにご活用ください。

◎目次◎

玄関
- ふだんのお手入れ …… 2
- ドアの不具合調整
- ドアのキズ補修
- ドアチェッカーの調整

洋室・階段
- ふだんのお手入れ …… 4
- 壁・床の補修
- 階段の安全対策

和室
- ふだんのお手入れ …… 6
- 木部のキズの補修
- 畳のお手入れ

障子
- ふだんのお手入れ …… 8
- 障子の張り替え
- 障子の張り替え手順
- 補修・建て付け調整
- 特殊な障子のはずし方

室内建具
- ふだんのお手入れ …… 10
- 汚れの落とし方
- レバーハンドルの調整と交換
- 仕上げ材の補修
- 室内建具の建て付け調整

勝手口ドア
- ふだんのお手入れ …… 13
- 蝶番・ストッパーの点検

キッチン
- ふだんのお手入れ …… 14
- 換気扇・レンジフードファンの分解掃除
- 排水口の掃除と部品交換
- 浄水器カートリッジの交換
- 収納扉の建て付け調整

浴室
- ふだんのお手入れ …… 18
- 汚れやカビの落とし方
- 毎月定期的に行うお掃除

トイレ・洗面
- ふだんのお手入れ …… 20
- トイレのトラブル対処法
- 汚れの落とし方

窓
- ふだんのお手入れ …… 22
- サッシの建て付け調整
- 特殊な窓の掃除

網戸
- ふだんのお手入れ …… 24
- 汚れの落とし方
- 網戸のはずし方
- 網戸の建て付け調整
- 網戸の張り替え

雨戸・シャッター
- ふだんのお手入れ …… 26
- 雨戸のはずし方
- 戸車の高さ調整・交換
- 落とし錠と鍵穴の調整

カーテン・ブラインド
- ふだんのお手入れ …… 28
- カーテンの洗濯
- ブラインドの汚れの落とし方

照明
- ふだんのお手入れ …… 30
- ランプの交換
- 照明カバーのはずし方

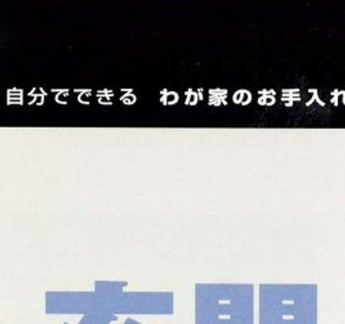
外まわり
- ふだんのお手入れ …… 32
- 外壁のガンコな汚れの落とし方
- 油汚れをつけない工夫
- 外壁の洗浄・塗り替え

なんでも相談室
- フローリングのお手入れ法は …… 34
- キッチンの油汚れは
- セキスイ畳のお手入れは
- サッシレールの掃除法は
- シャッターが重くなり注油したいが
- 浴室のカビの取り方は

掲載商品のご紹介 …… 36

玄関

隅々までお手入れのゆき届いた玄関は、家族にも、お客さまにも気持ちのよいものです。それでも年月が経つと、汚れや傷みがちらほら。そんなときの補修の仕方も心得ておきましょう。



ここをチェック！

- □ドアの外側や下部が泥やホコリで汚れていないか。
- □ドアの取っ手まわりに手アカがついていないか。
- □ドアチェッカー（クローザー）に異常はないか。
- □ドアの開閉、鍵の開け閉めに難がないか。
- □ドア表面にキズがないか。
- □木製ドアの塗装がはげていないか。
- □たたきに泥汚れはないか。
- □巾木や上がりかまちにキズがないか。
- □玄関収納の扉などに汚れや傷みがないか。

ふだんのお手入れ

ドア

玄関ドアには、木製と金属製の2タイプがあります。金属製ドアは表面が丈夫にできているのでお手入れも簡単です。ホコリや泥はねがついたら、水をかけながらやわらかい布で洗い流してください。

一方、木製ドアは水や直射日光に弱いので、きちんとしたお手入れが必要。週に一度はやわらかい布でからぶきをしましょう。泥はねなどは、気がついたらすぐ落とします。

木製ドアのワックスがけ

できれば月2回、ホコリや泥を落とした後にワックスをかけましょう。ドア表面に膜をつくって汚れをつきにくくし、塗装のひび割れなども防いでドアを長持ちさせます。ドア下部はとくに傷みやすい部分なので、念入りにワックス（＊1）を塗っておきましょう。

＊1「木製玄関用ワックス　セラリカクリーム」

たたきとポーチ

たたきに水をまくと、カビやタイルがはがれ、白アリ発生の原因になります。汚れは、水を絞った雑巾やモップでふき取りましょう。

石床専用のワックス（＊2）を塗っておくと、ツヤがよみがえり、汚れもつきにくくなります。

屋外のポーチは水を流し、泥などのこびりつきをデッキブラシやタワシでこすり落としてください。

＊2「石床用樹脂ワックス（屋内用）」

ドアの不具合調整

メンテナンスは早めに

【開閉時に「キーキー」音がする】

ドアの開閉時「キーキー」音がしたり、固くて開きにくい場合は、蝶番の心棒に潤滑剤（＊3・＊4）を差します。支障がなくても半年に1回程度、定期的に行うとよいでしょう。

＊3「シリコンスプレー」

＊4「クレCRC 5-56 1002」



ドア（木製）につかないように注意しながら潤滑剤を差す。

【ドアの閉まりが悪い】

ラッチボルトの収まりが悪く、ドアがきちんと閉まらないときは、ラッチボルトに潤滑剤を差すと、スムーズに収まります。潤滑剤の代わりに鉛筆の芯をこすりつける方法もあります。



2B～4Bぐらいのやわらかい鉛筆をこすりつける。

【鍵の回りが悪い】

鍵がスムーズに回らないときは、鍵穴に潤滑剤を差します。潤滑剤がなければ、鍵の凹凸部分に鉛筆の芯をこすりつけます。

ドアのキズ補修

木製ドア

●小さなキズは…

木製ドアの小さなひっかきキズはクレヨンタイプの補修剤（＊5）で直せます。

①ドアと同じ色の補修剤を、キズと交差するように塗り込む。

②ヘラで余分な補修剤をそぎ取る。

③最後に透明のラッカーかマニキュアを塗って補修面を保護する。

キズに塗るだけの筆ペンタイプの補修剤（＊6）もあります。

＊5「バッチャルペンシル」8色

＊6「住まいのマニキュア」

●大きなキズ、へこみに…

ぶつけたりしてできた深いキズも、パテと塗料を使って直せます。

①ぬらした指先でウッドパテをこねながら、へこんだキズに埋め込む。

②ウッドパテが完全に乾いて固くなったら、サンドペーパーでドア面と平らになるようにこする。

③同色のパウダーステインを塗る。溶かして色を調合できる、便利な充填剤（＊7）もあります。

＊7「EcoハードスティックJ 8色



補修剤は少し盛り上がるくらいに塗り込み、乾いたら平らに削り取る。

ジグザグに塗るようにすると、キズの中に補修剤がぴったり塗り込まれる。

金属製ドア

●サビが出たら…

金属製ドアにキズがついたり、サビが発生した場合は、サンドペーパーでサビを落とした後、サビや粉塵をきれいに取り除き、水性塗料を塗っておきます。8～12年経ったら、ドア全体を塗り替えましょう。

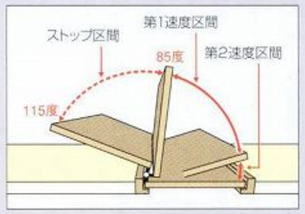


サンドペーパーでこするときは、周囲を傷つけないよう注意。

ドアチェッカーの調整

●ドアチェッカーのしくみ

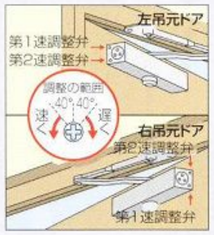
ドアチェッカー（ドアクローザー）はドアを静かに安全に閉めるための装置。2段階のスピードで閉まる玄関ドアでは、閉まる手前15度ぐらいまでのところを第1速度区間、そこからドアが閉まるところまでを第2速度区間といいます。（※'96年4月以降に取り付けられたドアチェッカーには第3速度区間があります が、第3速度区間の調整は基本的に不要です）



角型（旧タイプ）

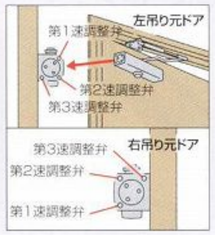
左吊り元ドア（屋内から見て蝶番が左側にあるドア）は第1速が上の調整弁、第2速が下の調整弁です。

右吊り元ドアの場合は上下が逆になり、上が第2速、下が第1速の調整弁となります。どちらもプラスのドライバーで図のように調整できます。



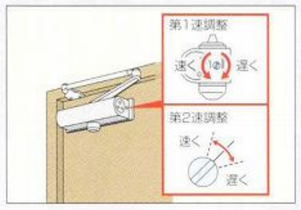
角型（新タイプ）

同じ角型ですが、こちらのタイプは第3速まで調整弁があります。左吊り元ドアは第1速が上の調整弁、第2速が下の調整弁、第3速が左下の調整弁です。右吊り元ドアは上下が上の調整弁、第3速が右下の調整弁で（第1速と第2速）が逆になり、第3速が右上の調整弁になります。



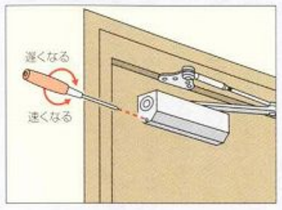
丸型

第1速、第2速とも一つの調整弁で調整します。第1速はマイナスドライバーでネジを右に回すと遅くなり、左に回すと速くなります。第2速の調整は第1速の調整後、速度調整弁のネジの角度（わずかに動かすだけでかなり速度が変わる）で調整します。



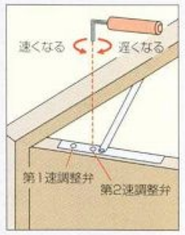
ハイドア

ドアチェッカー本体のスライドカバーをはずすと調整弁があります。丸型と同様に、一つの調整弁で第1速、第2速とも調整します。慎重に、少しずつ速度の様子を見ながら調整をしましょう。



鋼製アール

ドアのつけ根に近いほうが第1速、遠いほうが第2速の調整弁です。マイナスドライバーで調整します。



注意しましょう

ドアの開閉速度は微妙ですから、ネジは少しずつ、様子を見ながら回して調整しましょう。ドアチェッカーは油圧で作動するので、気温によりスピードが変わってきます。夏場はスピードがやや速くなり、冬場はやや遅くなります。

＊印の商品はハーモネートショッピングクラブで扱っています。＊印の商品はホームセンターなどでお求めください。どちらもP.36～37で詳しくご紹介しています。

洋室・階段

フローリングや壁クロスは汚れやキズが気になるところ。また、階段は家庭内の事故が起こりやすい場所です。正しい方法でお手入れし、さらに安全への配慮もしておきましょう。



ここをチェック！

- □ コーナーにホコリがたまっていないか。
- □ 床のツヤがなくなり、白っぽくなっていないか。
- □ 床や手すりにキズがないか。
- □ 階段がすべりやすくないか。
- □ すべり止めが付いている場合、はがれやめくれがないか。
- □ 階段にきしみ音がないか。
- □ 手すりにぐらつきはないか。
- □ 壁が手アカなどで汚れていないか。
- □ 壁クロスの継ぎ目にはがれがないか。

ふだんのお手入れ

床（フローリング）

フローリングは、ふだんは掃除機やモップなどでごみやホコリなどを取り除きます。階段隅は、掃除機の細口ノズルや、ブラシつきノズルを使用すると便利です。階段掃除には、軽い小型のハンディタイプの掃除機を使うと上り下りがらくにできます。

フローリングは水気を嫌うので、ぬれ雑巾は使わず、乾いた布でからぶきしてください。

ワックスは定期的に

少なくとも3～6ヶ月に一度ワックスがけをしておくと、汚れやキズがつきにくくなります。乾きが遅いと、乾くまでにホコリがつくので、晴天の日に、風通しをよくして行いましょう。

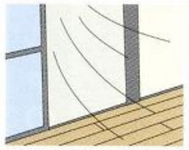
〈注意〉

必ずフローリング用の樹脂系ワックス（＊9・＊10）を使用してください。油性ワックスは床がすべりやすく非常に危険。絶対に使用しないでください。

＊9「プロテクトゼロ」
＊10「抗菌コート」

【ワックスがけの手順】

❶ワックスを塗る前には、床用クリーナー（＊11）で汚れを落とす。



❷汚れを落としたら、窓を開け風通しをよくして、床を乾燥させる。



❸樹脂系ワックス（＊9・＊10）を、乾いた布またはモップに含ませる。



❹部屋の奥から出口方向に向かい、板目に沿って塗り広げる。

＊11「エコクリン」

手すり

木製の階段や廊下の手すり・手すり下の棒は、乾いた布でからぶきします。

壁

壁クロスは、上の方からハタキなどでホコリを払い落とします。ポリパタキは使う前に2～3回振って静電気を起こしてからなでると、ホコリが吸着し周囲にホコリが飛び散りません。

水ぶき可能なビニールクロスは、季節に一度、固く絞った雑巾でふいておきましょう。手アカやタバコのヤニの汚れは、住まいの洗剤や電解アルカリ洗浄水（＊12）をつけてふきます。

＊12「ハングリーウォーター」

汚れの落とし方

【鉛筆・クレヨンなど】

いたずら書きや手アカの黒ずみは消しゴムで落とせます。クロスを傷めないよう少しずつていねいにこすりましょう。

【サインペンなどの水性インク】

マニキュア用の除光液を、コットンかやわらかい布に含ませ、たたくようにして汚れをふき取ります。

【マジックなどの油性インク】

油性インクやキッチン壁の油汚れは、内外装用洗浄剤（＊13）で落とします。汚れがしみ込む前に落としましょう。

＊13「ストロング」



洗浄剤を水で10～20倍に薄め、スプレー容器に入れて吹き付けいなす。2～3分おいたら歯ブラシで汚れをこそぶりとり、水でよく落としておく。

壁・床の補修

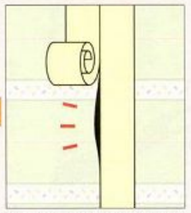
壁クロスのはがれ・汚れ

●クロスがはがれたら

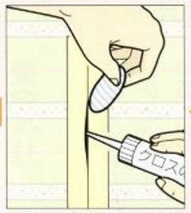
壁クロスの継ぎ目がはがれたときは、クロス専用ののりで貼りつけます（＊14）。強力な接着剤を使うと、クロスがごわごわになったり、張り替え時にきれいにはがせなくなったりします。

クロスがはがれないように、ぴったりきれいに仕上げるコツは、ローラーをかけること。余分なのりや空気が外に押し出され、ぴったり貼ることができます。ローラーがない場合は、梱包用のガムテープなどで代用できます。

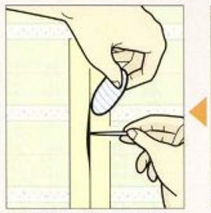
＊14「クロスの補修キットローラー付き」



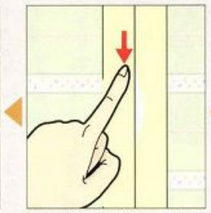
表面をのりで汚さないよう、はがれた箇所の両側にマスキングテープを貼る。



はがれた部分をヘラなどで持ち上げながら、のりをたっぷり付ける。



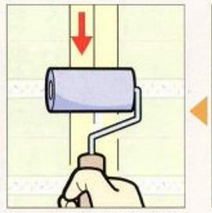
さらに爪楊枝などを使って、のりを奥まで押し込む。



上から下に向かって指で押さえ、余分なのりを押し出す。



固く絞ったスポンジか布で、はみ出したのりをふき取る。

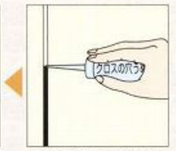


ローラーでのりを均等に行き渡らせ、テープをはがして完了。

●継ぎ目のすき間は

クロスの継ぎ目にすき間ができてしまったら、ペースト状の補修剤を埋め込みます（＊14）。クロスの色に近い補修剤を選び、チューブから押し出しながら、すき間を埋めていきます。

＊14「クロスの補修キットローラー付き」



すき間に穴うめ剤のノズルの先端を当て、押し出しながら上から下へ埋めていく。



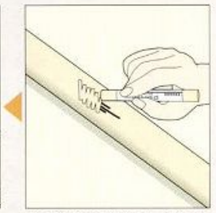
ヘラで余分な穴うめ剤を取り除く。色が合わないときは、乾いてから水性塗料を塗る。

●小さなキズがついたら

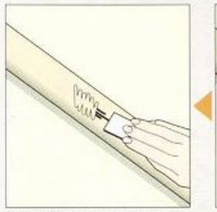
床や手すりのひっかきキズは、クレヨンタイプの補修剤（＊5）で直せます。

①床または手すりと同じ色の補修剤を用意する。
②キズと交差するようにして、クレヨンをジグザグに塗り込む。
③ヘラやプラスチック板で余分の補修剤をそぎ落とし、キズの周囲を布でふく。

＊5「パッチャルペンシル」8色



キズに交差するように補修剤を塗り込む。



余分の補修剤はヘラなどでそぎ落とす。

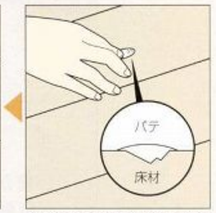
●深いキズやへこみには

大きめのキズは、ウッドパテを塗り込みます。

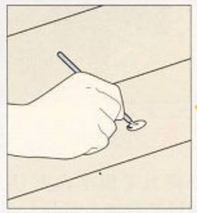
①キズ口に指またはヘラでウッドパテ（木部の充填剤）を塗り込む。
②30分ほどして乾いたら、カッターナイフでパテを床と平らになるようにカットする。
③オイルステインまたはウレタンニスを塗って仕上げる。

溶かして色を調合できる、便利な充填剤（＊7）もあります。

＊7「ECOハードスティック」8色



キズ口にパテを少し盛り上がるくらいに塗り込む。



重ね塗りで色を合わせ、最後に木目を描き入れる。

階段の安全対策

階段は家の中でも事故の多いところ。ちょっとした注意や工夫で事故を防ぐことができます。

●すべり止めをつける

市販のすべり止めテープをステップのふちに貼りつけます。

また、すでにすべり止めがついている場合、はがれやめくれがあると、逆に足をひっかけやすく危険です。確認の上、必要があれば直しておきましょう。

●油性ワックスは使わない

掃除のとき、すべりやすい油性のワックスは絶対使わないこと。必ず樹脂系のものを使いましょう。

●手すりのぐらつきはすぐ直す

階段の手すりは事故防止のためのもの。その手すりがぐらついていては危険です。完全に修理する必要がありますから、早急にファミエスにご連絡ください。

●きしみを直す

階段を上り下りする際、きしみ音がすることがあります。木が乾燥してすき間ができたり、木が痩せてきたためです。音がする場合は、ファミエスにご相談ください。



すべり止めテープは、プラスチック製、ゴム製など各種ある。

＊印の商品はハーモネートショッピングクラブで扱っています。＊印の商品はホームセンターなどでお求めください。どちらもP.36～37で詳しくご紹介しています。

和室

**和室はいつも清潔に、
清々しい印象にしつらえて
おきたいものです。
そのために大切なのは、
こまめなふき掃除。ただ、
和室は、畳や柱、敷居など
洋室とは違う建具・建材なので、
お手入れ法も違ってきます。**



ここをチェック！

- □畳が汚れて黒ずんだり、日焼けで黄ばんだりしていないか。
- □畳のへりが汚れていないか。
- □部屋の隅など畳にカビが生えているところはないか。
- □柱や鴨居、長押などの白木部分に汚れや変色はないか。
- □床の間の地板や違い棚にキズはないか。
- □広縁にキズやへこみはないか。

ふだんのお手入れ

畳も、鴨居や長押などの白木も床の間も、どれも水気を嫌います。和室のふだんのお手入れはからぶきです。

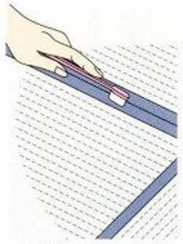
畳

畳にはイ草の畳表と合成材の畳表（セキスイ畳表など）があります。どちらもできれば毎日掃除機をかけ、ゴミやホコリを取り除きましょう。掃除機を使えばダニ駆除にもつながり衛生的です。掃除機は畳表を傷めないように、畳の目に沿ってかけます。

畳の汚れを落とすには、住まいの洗剤を薄め、固く絞った雑巾で畳の目に沿ってふきます。その後は洗剤分を残さないよう水ぶきし、さらにからぶきします。イ草は湿気に弱いのでなるべく水ぶきは避けましょう。やむを得ず水ぶきするときは、洗濯機で脱水した雑巾やタオルなどで手早くふいてください。セキスイ畳「美草」のような合成材の畳表は水分を吸収しにくいので、水ぶきしても大丈夫です。

畳のへり

へりの汚れは、歯ブラシか爪ブラシでたたくようにして落とします。汚れがひどいときは、住まいの洗剤を原液のまま歯ブラシなどにつけて手早くこすります。汚れが取れたらすぐにお湯ぶきして洗剤分を取り、さらにからぶきして水気を取ります。ごしごしこするとあとが白っぽくなるので、たたくようにして汚れを落としましょう。



へりの汚れは、歯ブラシに洗剤液をつけ、たたくようにして落とすのがコツ。

白木（柱・敷居・鴨居・長押）

白木は塗装されていないため、水分や油分がつくと吸収してシミをつくることがあります。水ぶきや化学雑巾の使用は避け、ふだんはからぶきをします。

手アカなどの汚れがついてしまったら、お湯で固く絞った雑巾でふき取るか、白木用洗剤（＊15）で落とします。ふいた部分だけが目立たないよう、周りをぼかしながらふいていくとよいでしょう。

白木用のワックス（＊16）を塗っておくと、汚れがつきにくくなります。

＊15「白木専用洗剤」
＊16「白木用ワックス」

床の間

床の間の地板や違い棚もからぶきです。水ぶきすると保護膜がはがれ、表面のツヤがなくなります。木部用のワックス（＊1）を塗っておくと、ツヤが保てる上、汚れもつきにくくなります。

＊1「木製玄関用ワックス　セラリカクリーム」

広縁

広縁は縁甲板という床材でできており、表面は樹脂塗装されています。お手入れはフローリングと同じ。ふだんはからぶきし、1～2ヶ月に一度ワックスがけをすると表面に膜ができ、汚れやキズがつきにくくなります。

木部のキズの補修

床の間や広縁

床の間の地板や広縁など表面加工してある木部のキズは、木製品専用の補修剤を使って直します。

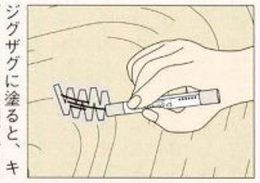
●小さな筋状のキズは

クレヨンタイプの補修剤（＊5）で直せます。

①木と同じ色の補修剤を、キズと交差するようにジグザグにこすって塗り込む。
②ヘラで余分な補修剤をそぎとる。
③必要に応じてクリアラッカーや塗料で色つやを調整する。

塗るだけの筆ペンタイプの補修剤（＊6）もあります。

＊5「パッチャルペンシル」8色
＊6「住まいのマニキュア」



ジグザグに塗ると、キズの中に補修剤がぴったり埋まる。

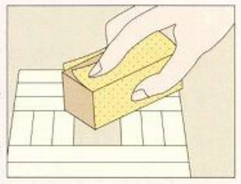
●深いキズやへこみは

ものを落としたりしてできた深いキズやへこみは、木工用パテや塗料を使って直します。

①へこんだ部分にヘラまたは指で木工用パテを塗り込む。キズの周囲にテープを貼って作業すると床が汚れない。
②木工用パテが乾いて固くなったら、サンドペーパー（600番～800番程度）で周囲の面と平らになるように仕上げる。
③オイルステイン、またはパウダーステインを、周囲と色が同じになるまで重ね塗りする。



パテは乾くと痩せるので、盛り上がるくらいに塗り込む。



サンドペーパーは木片をくるむようにして使うとこすりやすい。

〈注意〉床の間に花器や壺などを飾る場合は、キズがつかないよう敷物を用意しましょう。また、花器の底についた水は、よくふき取ってから置きましょう。

白木（柱・敷居・鴨居・長押）

白木は表面加工されていない木材ですから、塗料などは使わずに補修します。

●画鋲やクギの穴は

楊子または割り箸を削って埋め込みます。

①穴の大きさに合わせて楊子か割り箸を削っておく。
②削った楊子または割り箸に木工用接着剤をつけて穴に埋め込む。
③カッターで余分な部分を切り落とし、平らにする。

●大きなキズやへこみは

ものをぶつけたときにできたキズやへこみは、充填剤を埋めて直すことができます。

①へこんだ部分にヘラまたは指で白い木工用パテを塗り込む。
②木工用パテが乾いて固くなったら、サンドペーパーで周囲の面と平らになるように仕上げる。

●白木の日焼けは

紫外線による日焼けや変色をきれいにするには、白木用の漂白クリーナー（＊17）を使います。

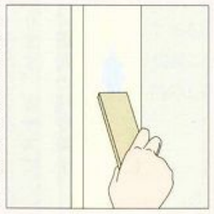
①クリーナーを水で4～5倍に薄める。
②変色した部分にハケかスポンジで塗布する。
③数分後、汚れが落ちたら固く絞った雑巾で水ぶきする。

＊17「アクレス」

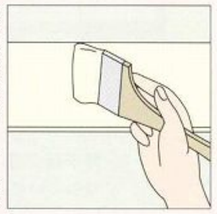


余った部分を切り落とすときは、周囲にキズをつけないよう注意。

クギ穴の大きさに合わせて割り箸を削る



ヘラは白木にキズをつけないよう、木のヘラを使うとよい。



水で薄めたクリーナーを、ハケでていねいに塗っていく。

畳のお手入れ

●畳にカビが生えたら

カビは乾いた布でふいても、掃除機をかけても、カビの胞子をまき散らすだけです。アルコール（市販の消毒用エタノール）でふき取るのが一番です。

①乾いた布にアルコールをつけてカビをふき取る。
②部屋に風を通し、畳を乾かす。



アルコールは自然に蒸発するので、水ぶきやからぶきをする必要はない。

●畳が黄ばんでしまったら

酢を使うのが効果的です。

①酢2分の1カップを2リットルのぬるま湯で薄める。
②雑巾を①に浸してから固く絞り、畳をふく。
③からぶきして水気を取る。



酢を混ぜたぬるま湯で雑巾を絞り、畳の目に沿ってふく。

●畳替えの時期は

イ草の畳表は2～4年経ったら裏返し、さらに2～3年で畳表を取り替えると、いつも気持ちよい感触が保てます。

＊印の商品はハーモネートショッピングクラブで扱っています。＊印の商品はホームセンターなどでお求めください。どちらもP.36～37で詳しくご紹介しています。

障子

ピンと張られた障子は
すがすがしく、心が落ち着きます。
ふだんのお手入れは
もちろんのこと、定期的に
障子を張り替えて、
お部屋全体を明るく
清潔にしておきましょう。



ここをチェック！

- □ 障子紙が黄ばんだり破れたりしていないか。
- □ 桟にホコリがたまっていないか。
- □ 折れている桟がないか。
- □ 引き手やそのまわりが汚れで黒ずんでいないか。
- □ 雪見障子などのガラス部分が汚れていないか。
- □ 敷居が黒ずんだり、隅にホコリがたまったりしていないか。
- □ 敷居のすべりが悪くないか。

ふだんのお手入れ

障子

白い障子には、目立たないのですが、案外ホコリがついています。週に一度は障子の両面についたホコリを、ハタキや荒神ぼうきなどで上から順に払いましょう。

桟にたまったホコリは小さいブラシや乾いたやわらかい布で落とします。桟は白木ですから、ぬれ雑巾や化学雑巾でふくと、水分や薬品を吸って変色することがあります。ふだんはからぶきで十分です。

また、敷居の隅にたまったホコリ取りには、掃除機の細口ノズルやブラシつきノズルを使うと便利です。

＊18「エレキャッチスター」



障子のふだんのお手入れに、どれか一つはぜひ用意を。右から荒神ぼうき、昔ながらの絹布のハタキ、静電気でホコリを吸着する化学繊維のハタキ（＊18）。

木部

引き手やそのまわりは手アカなどで汚れがつきやすいところです。黒ずんでしまったら、住まいの洗剤を水で薄め、雑巾につけてふき取ります。その後、固く絞った雑巾で水ぶきをして洗剤をきれいに落とします。敷居の汚れも同様に住まいの洗剤で落とします。

ガラス

雪見障子などのガラスの汚れは、ガラスクリーナーをやわらかい布の方にスプレーしてふき取ります。ガラスに直接スプレーすると、周囲の桟や障子紙にクリーナーが付着してしまいます。必ず布の方に洗剤をつけてふくようにしてください。

障子の張り替え

張り替えの目安は年1回

真っ白に張り替えられた障子は、部屋全体を明るくします。張り替えは面倒な作業と思われがちですが、要領さえつかめば、どなたでも簡単にできますから、挑戦してみてください。

障子紙は幅広の90センチ幅（＊19 ▮130センチ幅もあり）と28センチ幅が一般的ですが、1枚貼りできる幅広のほうが手軽できれいに貼れます。

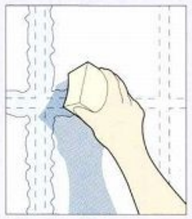
＊19「障子張り替えセット」

アルミ障子の場合、一般の障子紙を張ると温度や湿度の変化により障子紙が収縮し、紙はがれが発生することがあります。アルミ障子専用の障子紙（パルプ20％＋オレフィン系複合繊維80％）をご使用ください。



張り替えに必要なのは、障子紙・障子用ワンタッチのり（または障子用水のりとハケ、バットなどの容器）・定規・カッター・スポンジ・雑巾・霧吹き・セロハンテープ。

障子の張り替え手順



❶古い障子紙をはがす

障子をはずし、水を含ませたスポンジやハケで、紙の上から桟を十分にぬらす。5分ほどおいて、古いのりがふやけてきたら、端からゆっくりとはがす。はがし残りの紙ややのりをぬれ雑巾できれいに落とし、桟を乾かす。

＜注意＞障子の枠は水で洗わないでください。また、ひなたで乾かすのもやめましょう。桟に狂いが生じるおそれがあります。



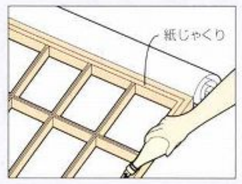
❷紙の位置を決める

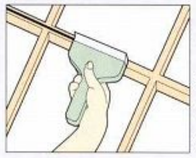
障子を床に寝かせ、その上に障子紙を広げる。貼り始めの紙の中心をセロハンテープで留め、障子の枠（=かまち）と紙が平行になるように調整して、位置を決める。中心の左右もセロハンテープで固定し、紙を巻き戻しておく。

❸桟にのりをつける

ワンタッチ式ののりの場合▶

のりの先端のガイドを、桟の角に合わせる。のりの量は幅1〜2ミリ、かまちの紙じゃくり（一段低くなったのりしろ部分）には心持ち多めにつける。



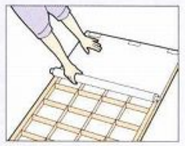


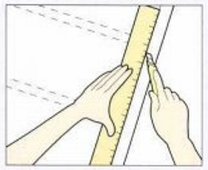
◀ハケを使う場合

水溶きのりの場合は、ハケを少し寝かせながら、トントンとたたくようにしてつけていく。

❹紙を貼り、余分を切る

巻き戻してある紙を、ゆっくり転がしながら、ひっぱり加減に貼っていく。のりがよくつくように、桟の上を軽く手で押さえる。





のりが半乾きになったら（ぬれていると切りにくく、完全に乾くと切った紙をはがせない）、紙じゃくりに沿って定規を当て、余分な紙を切り落とす。枠についた余分なのりは、固く絞った雑巾でふき取る。

❺霧を吹く

障子紙にしわやたるみがある場合は、立てかけて霧吹きで軽く霧を吹きつけると、乾いたときにピンとなる。



※ここで紹介したのは1枚貼りの方法ですが、巻紙式障子紙の場合は、下から順に貼っていくと、紙が重なる部分にホコリがたまりません。

補修・建て付け調整

●桟が折れたら

折れた桟をそのままにしておくと、ひずみの原因になります。気づいたらなるべく早く処置しましょう。

①桟の切断面に木工用ボンドを塗り、ぴったりとくっつける。
②ボンドが完全に乾くまで、マスキングテープなどで固定しておく。



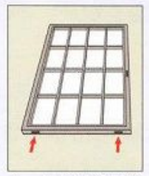
折れてすぐなら、切断面がぴったり合うのでくっつきやすい。

●すべりが悪くなったら

障子のすべりが悪いときは、市販の戸すべりシール（＊20）や敷居すべりテープ（＊21）で開閉がスムーズになります。

①障子をはずし、下側のゴミや汚れをふき取る。
②両端に戸すべりシールを貼る。

＊20「カグスベール（トスベール）」
＊21「敷居スベリ」



シールは最低両端2ヶ所、大きい障子の場合は3ヶ所に貼る。

●ガタガタするときは

障子がピッタリ閉まらずガタガタする場合は、敷居すべりテープ（＊21）で直せます。

①障子の傾き具合を確認する。
②テープを小さく切り、持ち上げたい側の下に貼りつけます。

＊21「敷居スベリ」



敷居すべりテープは、様子を見ながら1枚ずつ貼っていく。

※アルミ障子は、下桟にある建て付け調整ネジで調整します。

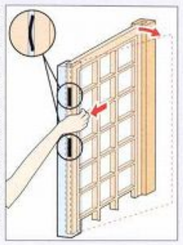
特殊な障子のはずし方

●雪見障子は

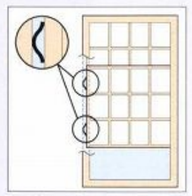
雪見障子の上げ下げ障子には、縦桟にわん曲した板バネが取り付けられています。まず、上げ下げ障子を上下の中間の位置まで引き上げ（中間部分は桟の溝が深くなっているためはずしやすい）、引き手と反対側の桟に強く押しつけます。板バネが伸びて障子全体が桟の溝に深く入り、反対側がはずれて出てきます。

●はめ殺し障子は

敷居から障子をはずすときと同じように、障子の横桟を両手で上に持ち上げます。上枠が深く溝に入り込み、下枠が浮いてはずれます。



上げ下げ障子を桟の内側に強く引き寄せると、反対側の桟が溝からはずれる。

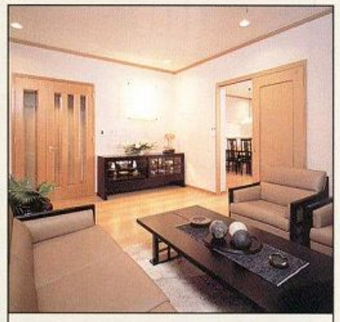


上げ下げ障子を、上下の中間の位置まで上げる。

＊印の商品はハーモネートショッピングクラブで扱っています。＊印の商品はホームセンターなどでお求めください。どちらもP.36〜37で詳しくご紹介しています。

室内建具

室内の建具は風雨にさらされることこそありませんが、手入れを怠れば、やはり見た目の美しさ、機能は低下します。室内建具は家具と同じと考え、ふだんから正しい方法でお手入れしましょう。



ここをチェック！

- □ドアパネルに手アカがついていないか。
- □ドアパネルにキズがついていないか。
- □ガラスが汚れたり、ひびが入ったりしていないか。
- □桟にホコリがたまっていないか。
- □ノブや引き手が手アカで汚れていないか。
- □ノブやレバーハンドルがグラグラしていないか。
- □蝶番にゆるみはないか。
- □引き戸はスムーズか。

ふだんのお手入れ

室内ドアのパネルやガラス部分には、目立たなくとも案外手アカがついています。1日に何回となく出入りするところですから、きれいにして気持ちよく過ごしましょう。

ドアパネル

室内ドアのパネルは、木製と塩ビシート化粧合板とがあります。

ガラス入りドアやデラックスタイプのドアは木製、それ以外は塩ビシート化粧合板です。どちらの場合も週に一度、やわらかい布でからぶきしておきましょう。同時にドアガラスや取っ手部分もふいておきましょう。

月に一～二度、クリーナー(＊1)を塗っておくと汚れがつきにくくなります。

汚れの落とし方

ドアパネル（木製）

①乾いた布で、あらかじめ表面のホコリをふく。

②木製ドア用クリーナーなど(＊1)をやわらかい布につけて塗る。

③クリーナーが乾いたら(約5分)、別の布でふき取る。

＊1「木製玄関用ワックス　セラリカクリーム」



ドアノブ・レバーハンドルの周辺は手アカもついているので、念入りに。

ドアパネル（塩ビシート化粧合板）

①中性洗剤を水で薄めたものを布にしみこませてふく。

②水ぶきして洗剤を落とす。

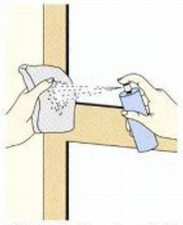
③最後にからぶきする。

〈注意〉

①汚れがひどい場合でも、ワイヤーブラシや金属タワシなど、固いものはキズがつくので使わないでください。

②シンナー、ベンジンのような有機溶剤はドアの表面を傷めるので、絶対に使わないでください。

③木製ドアは湿気を嫌いますから水ぶきはしないでください。木製ドア表面に絶えず湿気を与えると、木目内に水分が入り、木の膨張・変形などにより反りやひび割れが生じます。



ガラスクリーナーは必ず布の方にスプレーし、木部にはクリーナーをつけないように。

ドアガラス

ガラスクリーナーをやわらかい布にスプレーしてふくか、またはメガネのレンズふき用クロスを利用します。

ドアノブ・レバーハンドル

アルミ製のドアノブやレバーハンドルは、中性洗剤を水で薄めたものを布につけてふき、その後水ぶきします。

デラックス・オークドアのハンドルは真ちゅうですから、真ちゅう磨き(＊22)をつけて磨いてください。

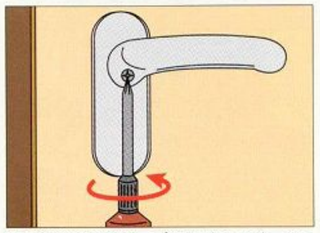
＊22「ピカール」

レバーハンドルの調整と交換

ハンドルの調整

●レバーハンドルがぐらついたら

二つのケースが考えられますが、一つはレバーハンドルの根元下部にあるネジのゆるみ。レバーハンドルを下から見上げると根元にネジが見えますから、これを締め直してください。

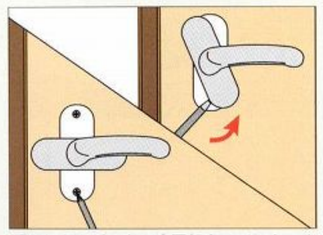


根元下部のネジを、プラスドライバーでしっかり締め直す。

●台座のぐらつきは

室外側の台座のカバーをはずし、中にあるネジを締めて直します。

まずマイナスドライバーをカバー下部の切り欠きにあてがいカバーを浮かせ、カバーが邪魔にならないよう横にした状態で、2ヶ所のネジを平均に締めます。



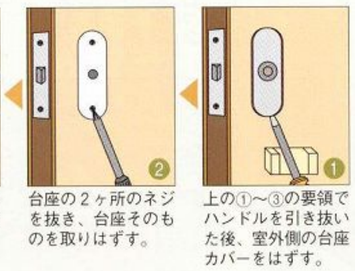
浮かしたカバーを90度回転させてから、2ヶ所のネジをしっかり締める。

●ハンドルが戻らないときは

トイレなど頻繁に開閉するドアは、年、月の経過により、ハンドルが下がったままに戻らなくなることがあります。

これは本体内部のバネの破損が原因ですので、本体ごとそっくり交換しましょう。この場合は、レバーとバネや台座がセットになったもの(＊24)を取り寄せ、下図の要領で交換してください。

＊24「レバーハンドル台座セット」



上の①～③の要領でハンドルを引き抜いた後、室外側の台座カバーをはずす。

台座の2ヶ所のネジを抜き、台座そのものを取りはずす。

フロント板の2ヶ所のネジを抜き、フロント板をはずす。

本体を取り出した後、逆の手順で新しいハンドルを取り付ける。

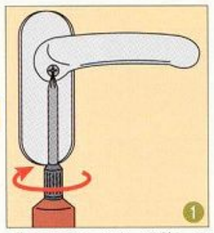
ハンドルの交換

●ハンドルが破損したら

レバーハンドルに固いものがぶつかったり大きな力が加わると、ひび割れを起こすことがあります。そんなときは新しいレバーハンドル(＊23)を取り寄せ、付け替えてください。

方法は、ハンドルの付け根のネジをはずして抜き取り、新しいハンドルを差し込むだけ。プラスドライバー1本で交換できます。このとき、どちらか一方の側の付け根のネジをはずせば、両側のハンドルとも引き抜くことができます。あとは逆の手順で新しいハンドルを取り付けましょう。

＊23「レバーハンドル」



プラスドライバーを使って付け根にあるネジをはずす。



反対側のハンドルを手で押さえながらハンドルを引き抜く。



反対側のハンドルは、ネジをゆるめずそのまま引き抜く。

仕上げ材の補修

●表面仕上げ材（ビニール系）がめくれてきたら

素材に適した接着剤を使って次の手順で直します。

①市販の「アクリルエマルジョン系接着剤・速乾(用途に木・皮・布・紙・ビニールとあれば該当)」、または「エチレン酢酸ビニル樹脂系接着剤」を用意。どちらもよくつくが、後者のほうがより速乾性がある。

②めくれている仕上げ材をドライヤーで温め、やわらかくする。

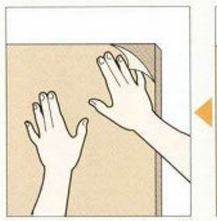
③仕上げ材が手になじむようになったら裏面に接着剤を塗る。

④凹凸ができないようていねいに貼る(ローラーまたはビンの胴部でこするのもよい)。

⑤はみ出した接着剤はふき取る。



仕上げ材をドライヤーでやわらかくしてから接着剤を塗る。



空気が入ったりシワができたりしないよう、ていねいに貼る。

＊印の商品はハーモネートショッピングクラブで扱っています。＊印の商品はホームセンターなどでお求めください。どちらもP.36～37で詳しくご紹介しています。

室内建具の建て付け調整

ドア

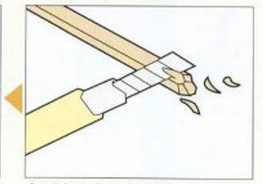
●蝶番がゆるみ、ドアが閉まりにくいときは

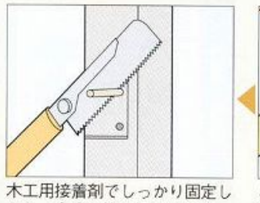
蝶番のネジがゆるみ、ドアを持ち上げないと閉まらないときは、蝶番のネジをドライバーで締めてください。ネジ穴が大きくなりネジが効かなくなっている場合は、ネジ穴を補修します。

①まず、ゆるんでいる蝶番のネジをはずす。

②ネジ穴に、細く削った割り箸の先に木工用接着剤をつけて、埋め込む。

③余分な箸を切り落とし、その上からキリでネジ穴をあけ、蝶番のネジを留める。


ネジ穴の大きさに合わせて割り箸を細く削る。


木工用接着剤でしっかり固定したら、余分な箸を切り落とす。

引き戸

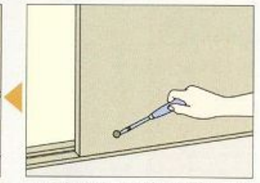
●引き戸がガタガタするときは

引き戸を開け閉めする際、ガタガタ音がしたり、すべりが悪いときは、引き戸の傾きまたは戸車の摩耗・破損が原因です。

①引き戸左下にある小さな穴ふさぎキャップをはずすと、中に戸車調整ネジがセットされている。これをドライバーで回し、引き戸が縦枠と平行になるように調整する。

②戸車自体が摩耗したり破損している場合は、新しい戸車（＊25）を取り寄せて交換する。

＊25「片引き戸車」


マイナスドライバーで引き戸左下にあるキャップをはずす。



凸レールは左へ、凹レールは右へ回すと引き戸が持ち上がる。

クロゼットドア

クロゼットドアには、折り戸、開き戸、引き違い戸があり、タイプによって調整の仕方が異なります。ドライバーとスパナ（＊26）で調整します。

●折り戸・フリー可動タイプ

【扉の左右調整】‖図①

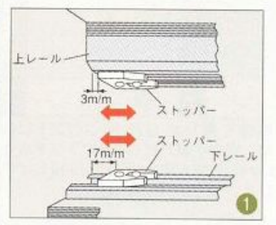
①上下のストッパーのビスをゆるめる。

②ストッパーの位置を、上レール側は壁面から3ミリ、下レール側は壁面から17ミリに設定する。

【扉の上下調整】‖図②

①ストッパーから吊戸車を取りはずす。

②クロゼットドアスパナ（＊26）で吊戸車のロックナットをゆるめ、アジャストナットを回す。上レールと扉の間隔が13～14ミリとなったところでロックナットを締める。



①



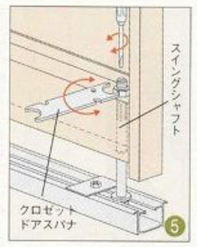
②

●折り戸・フラットタイプ‖図⑤

①扉の下部に付いているスイングシャフトのナットを、クロゼットドアスパナ（＊26）でゆるめる。

②シャフトの頭をマイナスドライバーで右に回すと扉は上がり、左に回すと扉は下がる。

③調整後、ナットを締めて固定する。



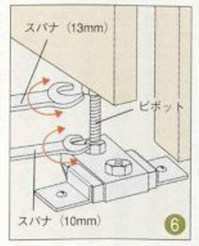
⑤

●開き戸タイプ（木製）‖図⑥

①扉下部のピボットの上側の六角ナットをスパナ（13ミリ）でゆるめる。

②ピボットの下側の六角ナットをスパナ（10ミリ）で右に回すと扉が上がり、左に回すと扉が下がる。

③調整後、上側の六角ナットを締める。

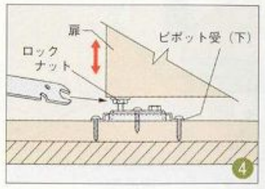


⑥

●引き違い戸タイプ

戸の引き手側下部にある調整ネジ付き戸車を、プラスドライバーで右に回すと扉が下がり、左に回すと扉が上がります。

＊26「クロゼットドアスパナ」



④



③

＊印の商品はハーモネートショッピングクラブで扱っています。＊印の商品はホームセンターなどでお求めください。どちらもP.36～37で詳しくご紹介しています。

勝手口ドア

勝手口ドアは、雨や泥、そしてゴミ出しのときの汚れがつきやすいところです。ふだんはあまり目につかないところですが、汚れは早めに落としましょう。



ここをチェック！

- □ドアのガラスが汚れていないか。
- □ドア枠は汚れていないか。
- □ドアの開閉はスムーズか。
- □面格子がホコリや泥で汚れていないか。
- □面格子にクモの巣が張っていないか。
- □網戸にホコリがたまっていないか。
- □開閉の際、蝶番がギシギシ音をたてていないか。
- □ドアストッパーがきちんと機能しているか。

ふだんのお手入れ

ドアパネル（金属部）

勝手口ドアのドア枠は、鉄にアクリル焼き付け塗装したものと、アルミ材に着色したものの2種類があります。お手入れ法はどちらも同じで、ふだんはからぶきをしてください。頻繁に水をかけて洗うと、ドアパネルとガラスの間から水が入り、金属の腐食の原因になります。

雨風により、ドアの外側に泥やホコリがこびりついたときは、中性洗剤を薄めたものをスポンジか洗車ブラシにつけてこすり落とし、その後水洗いして洗剤分を洗い流します。

泥はねも時間が経つと落としにくくなりますから、気づいたら早めにお手入れしておきましょう。

ガラス

ふだんはからぶきをしてください。汚れが目立つときは、ガラスクリーナーを布につけてふき取ります。

面格子

面格子は防犯のためのもので、面格子そのものを取りはずすことはできません。

お掃除のときは、面格子、桟などは、古くなった歯ブラシでホコリや汚れを落としておきましょう。

網戸

室外側には面格子がついていますから、室内側からポリバタキや網戸用ブラシでホコリを払うか、掃除機で吸い取ります。

アコーディオン式網戸は、ハタキなどで軽くホコリを払います。また、レールにホコリやゴミがたまると網戸がスムーズに開閉しなくなりますから、掃除機でこまめに取り除いてください。

〈注意〉

①パネルとガラスの間には、ビード（すき間ふさぎ材）がはめられています。これがはずれていると水が入り込む原因になりますから、掃除の前に点検し、はずれていたらはめてください。

②ホースで水をかけるのは避けてください。ビードがあっても、パネルとガラスの間から水が入り込むことがあります。

③汚れが落ちないからといって、シンナーやベンジンのような有機溶剤は絶対に使用しないでください。ドアの塗装を傷める原因となります。

蝶番・ストッパーの点検

●蝶番

ネジがゆるんでいると開閉に支障をきたします。ネジを締め直し、心棒に潤滑剤を差します。

●ドアストッパー

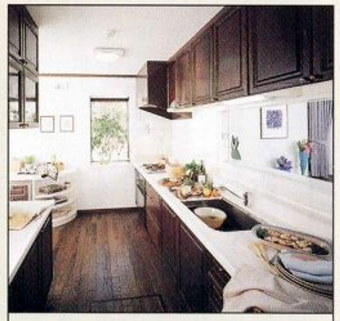
ドアストッパー固定部のネジもゆるみがないか確認。注油をするとすべってストッパーの役目をしなくなるので、潤滑剤を布につけ、表面を磨くだけにします。ストッパー（＊27）が古くなって効かない場合は、新しいものに交換します。

＊27「勝手口レバーストッパー」


すべてのネジをバランスよく締める。

キッチン

**キッチンは、家の中で一番
汚れがつきやすいところ。
ガンコな油汚れや、
悪臭をともなう水回りの汚れは、
お掃除もひと苦労。
汚れをこびりつかせない工夫や
短時間できれいにするコツを
ご紹介します。**



ここをチェック！

- □ カウンターに水はねや油汚れがないか。
- □ シンクのステンレスがくもったり、サビがついていないか。
- □ 排水口の水はけはよいか、悪臭はしないか。
- □ 給排水管に水漏れがないか。
- □ レンジにふきこぼれや油はねがないか。炎は正常か。
- □ 換気扇に油がこびりついていないか。
- □ 収納扉が油でベタついていないか。

ふだんのお手入れ

1日1回、食事の後片づけが終わった後にレンジまわりをサッとひとふき、シンクもサッとひと洗いしておきましょう。これだけで汚れのつき方が違ってきます。

カウンター

カウンターの材質はステンレス、ポストフォーム、人造大理石の3種類。どれも使用後は、固く絞った雑巾でふいておきましょう。油汚れはスポンジに台所用洗剤をつけてふき、その後水ぶきします。

ガンコな汚れは、練り歯磨きか超微粒子のクリーナー(＊28)をスポンジにつけてやさしくこすり落とし、その後水ぶきします。

シンク

シンクはステンレス製です。ふだんはスポンジに台所用洗剤をつけてグルリとひと撫でし、その後に水洗いします。水滴が残るとくもりの原因になるので、最後は乾いた布でふいておきましょう。

こびりついた汚れや、他の金属からのもらいサビは、クリームクレンザーか超微粒子クリーナー(＊28)をスポンジにつけてこすり落とし、その後に水洗いします。

〈注意〉
ステンレスに塩素が付着すると、サビや穴あきの原因になります。塩素系洗剤やぬめり取り剤は使わないようにしてください。

＊28「ニューハイホーム」

排水口

汚水中の脂肪分は、いろいろな汚れといっしょになって排水口に付着し、詰まりの原因になります。油はできるだけ流さないこと。毎日1回は、受け皿やトラップもタワシか古い歯ブラシで洗い、ぬめりを取り除いておきます。

レンジ

レンジについた油や煮こぼれは、熱いうちならペーパータオルやボロ布でふくだけで簡単に落ちます。

こびりついた汚れは、ボロ布に住まいの洗剤をつけてこすり落とし、その後にお湯ぶきします。市販の使い捨てふき取りシートも便利です。

炎が不揃いの場合はバーナー用ブラシかキリで目づまりを直します。

IHクッキングヒーターは、電源を切り、冷えてから絞ったふきんでサッとふきます。ガンコな油汚れはレンジ同様住まいの洗剤で落とすか、IHクッキングヒーター専用のクリーナー(＊29・＊30)で落とします。

＊29「IHヒーターよごれとり」
＊30「トッププレート用クリーナー」

収納部

木製の収納部は週に一度はからぶき、または化学雑巾でふきます。油のベタつきは台所用洗剤を水で薄め、布につけてふき取り、その後に水ぶき、からぶきをします。季節に一度、木部用ワックス(＊1)を塗っておくと汚れがつきにくくなります。

＊1「木製玄関用ワックス　セラリカクリーム」

換気扇・レンジフードファンの分解掃除

お手入れ法

壁付けの換気扇もレンジフードファンも、お手入れの仕方は同じです。下段を参考に部品をはずし、お手入れしてください。

●洗剤を湿布して落とす

①汚れに住まいの洗剤を吹き付け、ラップかティッシュペーパーをかぶせて30分以上おく。

②汚れがゆるんだらボロ布でふき取り、水洗いまたは水ぶきをして洗剤を落とす。

頑固な油汚れを溶かして落とす超強力クリーナー(＊13)もあります。汚れの度合いに応じて水で薄め、塗布します。

＊13「ストロング」

●つけ置き洗いをする

①大きめの容器に台所用洗剤を溶かしたぬるま湯をためる。

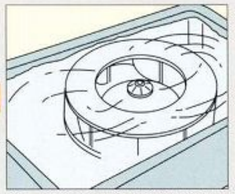
②その洗剤液にはずした部品を浸し、30分ほどおく(油が黒いゴム状になってこびりついているときは、割り箸などでこそげ落としてから洗剤液に浸す)。

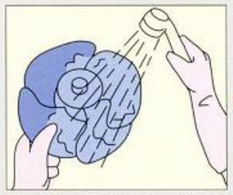
③汚れがゆるんできたら、スポンジやブラシでこすり落とす。

④充分に水洗いした後、カラぶきする。

〈注意〉お手入れは必ず換気扇の電源を切ってから行うこと。また部品を取りはずす際は、ケガをしないようゴム手袋を着用しましょう。


入り組んだ部分の汚れは歯ブラシを使うと落としやすい。

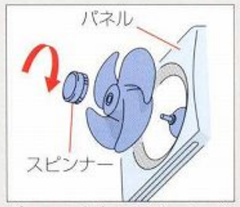

40～50℃のお湯に洗剤を溶かして使うと効果的。


汚れをふき取り、シャワーをかけて洗剤分を洗い流す。


洗剤を吹き付けた上にティッシュペーパーをかぶせる。

はずし方

●換気扇



プロペラ中央のスピンナーを「ユルム」の方向に回してプロペラをはずし、パネルもはずす。



プロペラの下に油だまりがついている場合は、両側を持ち油がこぼれないようにはずす。


フィルターを一度上に持ち上げてから手前に引いてはずす。



ステンレスのグリスフィルターが付いている場合は、まずフィルターの蝶ネジをはずす。

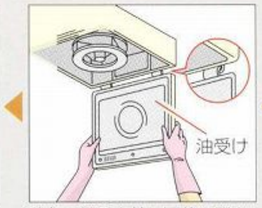
●スタンダードターボファン



スピンナーを「ユルム」の方向に回し、ターボファンを手で支えながらはずす。



油受けについているガードも、両側のつまみネジをゆるめてはずす。



後部の蝶番を軸に扇状に開き、そのまま手前に引いて油受けをはずす。


油受けを留めている3本のネジをゆるめる。

●DXレンジフードファン



中央のつまみを「ユルム」の方向に回し、シロッコファン本体を手で押さえながらはずす。



シロッコファンのベルマウス取り付けネジ3ヶ所を手ではずし、ベルマウスをはずす。



ステンレスのグリスフィルターをはずした後、前板を手前に引いてはずす。



コネクタカバー固定用ネジをゆるめてカバーを開け、中のツメを押しながら引き抜く。

＊印の商品はハーモネートショッピングクラブで扱っています。＊印の商品はホームセンターなどでお求めください。どちらもP.36～37で詳しくご紹介しています。

排水口の掃除と部品交換

●排水口の掃除

排水口は週に一度、部品をはずしてお掃除しましょう。

①フタゴム、受け皿（アミカゴ）、トラップなど、はずせるものははずす。



トラップは左（反時計回り）に回すとはずれる。

②取りはずした部品をタワシやブラシできれいに洗う。

③排水口や排水管の内側も、手の届く範囲は古い歯ブラシなどを使って洗う。

④最後に排水管にパイプ用洗剤（＊31）を流し込み、5分間はそのままにしておく。こうすれば排水管の悪臭を防ぎ、水の通りもよくなる。

●排水口の部品交換

フタゴムや受け皿（アミカゴ）などの部品は、古くなって汚れが落ちにくいようなら、新しいもの（＊32）に交換しましょう。

ぬめりがつきにくい銅製の部品（＊33）もおすすめです。銅イオンには殺菌作用があり、雑菌の繁殖を抑えてくれるからです。

●排水ホースの交換

排水ホースは、年数が経つと内側に汚れがこびりつき悪臭の原因になりがち。10年近く経ったら、排水ホースを交換しましょう。汚れや悪臭も解消され、すっきりします。

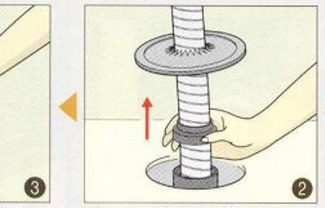
ホースの構造は、一方がシンクの排水溝にナットで固定され、もう一方が床下の排水管に差し込まれているだけ。樹脂製のナットは手で回せばはずすことができますから、下の図のように工具を使わなくても交換できます。

まず現在取り付けられているホースと同じもの（＊34）を取り寄せてください。

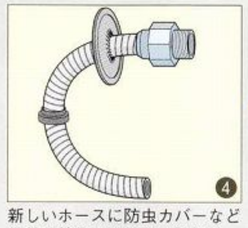
ホースはシンクのタイプによって異なり、シンクが一つの場合は排水ホース「大」、ダブルシンクなら「大」と「小」、または「Y管」が取り付けられています。シンクが一つでも二つでも、ホースのはずし方や取り付け方は、基本的には同じです。

＊31「パイプマン（分包）」
＊32「流し台排水口部品」
＊33「銅バスケット・銅トラップ」
＊34「流し台排水ホース」


床面に固定されている防虫カバーをはずし、上に移動する。


黒またはグレーの防虫キャップをはずし、ホースを抜き取る。


シンク側のナットを回してホースをはずす。


新しいホースに防虫カバーなどを付け替えてから取り付ける。

浄水器カートリッジの交換

浄水器をご使用の場合は、適正な時期にカートリッジを交換してください。交換せずに使い続けると、不純物が蓄積し、浄水機能が低下してしまいます。

●コンフォートキッチン専用清水器

（6ヶ月を目安に交換・＊35）

①レバーハンドルを閉めた状態でリングを回し、吐水口をカートリッジごとはずす。

②吐水口からカートリッジを抜き取り、新しいものを差し込む。

③本体にセットし、リングを回して固定する。

＊35「コンフォートキッチン清水器カートリッジ」

●アンダーシンク浄水器

（1年を目安に交換・＊36）

①チューブ先端の「IN」及び「OUT」のリングを右に回してロックを解除する。

②リングを引き上げ、カートリッジから「水道水」と「浄水」の2本のチューブを抜き取る。

③新しいカートリッジに2本のチューブの先端を「カチッ」と音がするまで垂直に差し込む。

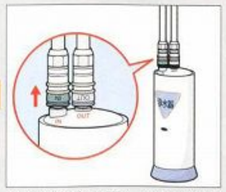
④それぞれのリングを左に回してロックする。

〈注意〉必ず「IN」と「IN」、「OUT」と「OUT」を接続すること。

＊36「アンダーシンク浄水器カートリッジ」



吐水口ごとカートリッジを抜き取り、交換する。


リングを右に回してロックを解除し、リングごと引き抜く。



IN・OUTの表示シールに合わせてしっかり差し込む。

＊印の商品はハーモネットショッピングクラブで扱っています。＊印の商品はホームセンターなどでお求めください。どちらもP.36～37で詳しくご紹介しています。

収納扉の建て付け調整

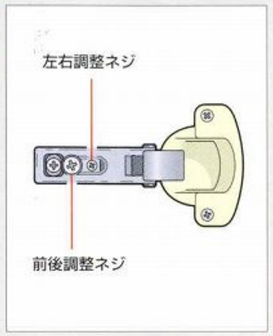
蝶番のしくみ

収納扉は長い間開け閉めを繰り返すうち、扉が傾いたりきちんと閉まらなくなることがあります。でもほとんどの場合、ドライバーで蝶番のネジを調整すれば直ります。

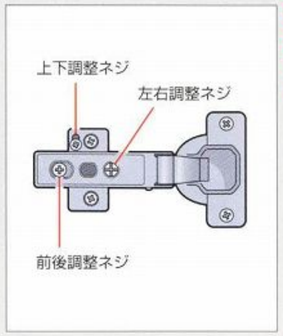
収納扉に使われている代表的な蝶番は左の2タイプです。Aは「左右」「前後」の調整ネジだけで「上下」の調整ネジがないタイプ。Bは「左右」「前後」の調整ネジが横に並び、上に「上下」の調整ネジが付いている比較的新しいタイプです。

なお、これ以外のタイプについてはファミエスまでお尋ねください。

●タイプA

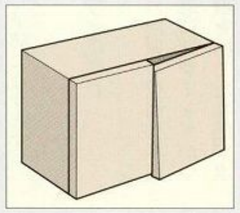


●タイプB



調整の仕方

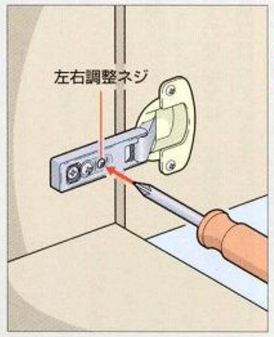
●扉が左（または右）に傾いたら



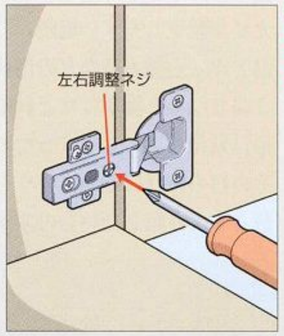
①上下2ヶ所の蝶番のうち、下の蝶番の「左右調整ネジ」を少しずつ左（または右）に回す。

②扉が正しい位置にきたところで止める。

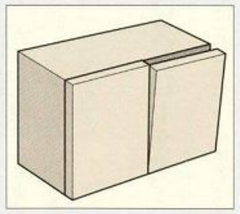
●タイプA



●タイプB



●扉が前に傾いたら



①上下2ヶ所の蝶番のうち、上の蝶番の「前後調整ネジ」をゆるめる。

②蝶番を矢印の方向に、扉がまっすぐになるまでスライドさせる。

③「前後調整ネジ」を締める。

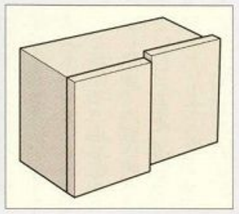
●タイプA



●タイプB



●扉が上（または下）にずれたら



タイプAは、扉の上下の位置は固定されており、上下にずれることはありません。したがって「上下」を調整するネジがついていません。

万一上下にずれてしまった場合は、蝶番を移動して留め直す方法がありますが、蝶番が破損している場合もありますので、無理をせずファミエスへご相談ください。

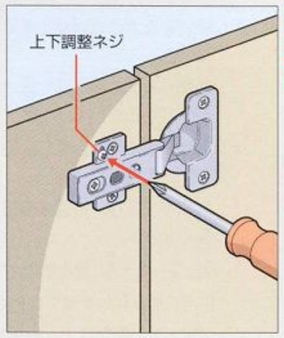
タイプBは、

①上下2ヶ所の蝶番とも「上下調整ネジ」をゆるめる。

②扉を正しい位置まで下げ（上げ）る。

③「上下調整ネジ」を締める。

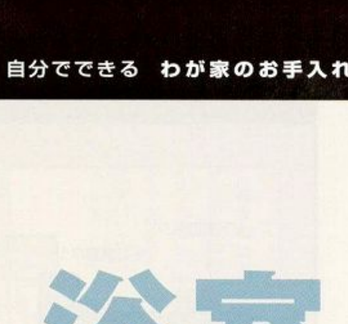
●タイプB



＊印の商品はハーモネットショッピングクラブで扱っています。＊印の商品はホームセンターなどでお求めください。どちらもP.36～37で詳しくご紹介しています。

浴室

**浴室は、家の中で最も
カビが発生しやすい場所。
湯アカ、石鹸カスなどの汚れは、
こびりつくと簡単にはとれません。
毎日気持ちよく入浴するためにも、
その日の汚れはその日のうちに
落とすようにしたいものです。**



ここをチェック！

- □ 浴槽のふちや内側に、湯アカや石鹸カスがこびりついていないか。
- □ コーキング部、ブラインド、換気扇などにカビが生えていないか。
- □ 循環パイプから浴槽に湯アカが出てくることはないか。
- □ 浴槽の排水栓が摩耗し水漏れしていないか。
- □ 蛇口やシャワーの湯水の出が悪くないか。
- □ シャワーホースに傷みがないか。
- □ 排水口の水はけが悪くないか。
- □ 浴室ドアの開閉はスムーズか。

ふだんのお手入れ

浴槽

浴槽には、石鹸カス、身体のアカ、湯アカ、水道水に含まれる鉄分など、たくさんの汚れがつきます。入浴後のぬくもりが残っているうちなら、簡単に落ちるので、入浴後か遅くとも翌朝には、湯を抜きながらスポンジかタオルで掃除しましょう。汚れが激しい場合は、浴室用洗剤をつけて汚れをこすり落とし、その後に水洗いをします。

床

床全体にシャワーをかけて飛び散った石鹸カスやアカを洗い流します。必要に応じて浴室用洗剤を使います。最後に雑巾で水気をふき取りましょう。

壁・天井

腰から下の壁部分は、床同様石鹸カスなどが飛び散っています。シャワーをかけるか、スポンジで洗い流しましょう。必要に応じて浴室用洗剤を使って洗います。

壁の上部や天井は、汚れよりもカビがつきやすいところ。入浴後、モップなど柄の長い道具を使って、水滴をふき取っておくとカビ予防になります。

窓・ドア・ブラインド

窓ガラスやドアの内側も壁同様水滴をふき取ります。窓にブラインドがついている場合は、羽を閉じた状態で水滴をふき、その後に羽を水平にして風を通します。

換気でカビ予防を

カビ予防には換気が一番。浴室換気扇の消費電力は1時間約4ワットと電気代はわずか。入浴後水滴をふき取り、少なくとも1～2時間換気扇を回しましょう。また、入浴時、就寝時、外出時以外はできるだけ浴室の小窓を開けておくと風通しがよくなります（ただし凍結のおそれのある寒冷地では閉めます）。なお、カビは一度生えたところに何度も出てきます。カビ止め剤（＊37）をスプレーしておくと、ある程度は予防できます。

＊37「かび止めZ」

蛇口ストレーナー

水に混じっている細かいゴミが、蛇口先端にストレーナー（網目状ろ過装置）に付着すると、水の出が悪くなるので定期的に掃除したい場所。蛇口先端にストレーナーがついているタイプは、ナットを指で回してはずし、ゴミを取り出します。

一部のサーモスタット式混合水栓は、次のようにはずして掃除します。

【蛇口ストレーナーの掃除法】

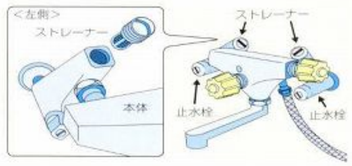
①左右の止水栓をマイナスドライバーで閉じる。

②ストレーナーのキャップをドライバーでゆるめてはずす。

③ストレーナー内側のゴミを、ブラシやドライバーでこすり落とす。

④ストレーナーをはずした状態で、止水栓を少し開き、内部に残っていたゴミを流し出す。

⑤ストレーナーにキャップをはめ込んで（パチッと音がする）戻し、キャップをしっかり締めて完了。



汚れやカビの落とし方

こびりついてしまったガンコな汚れやカビは、次のようにして落とします。

●浴槽の湯アカや石鹸カスは…

①天然成分のクリーナー（＊28）をスポンジにつけて、汚れをこすり落とす。

②水洗いをしてクリーナーを洗い流す。

〈注意〉表面の光沢が失われる場合があるので、目立たない部分で試してみて使用してください。

＊28「ニューハイホーム」

●コーキング部のカビは…

①カビ取り剤（＊38）を塗り、1時間程度おく。

②スポンジでこすり落とす。

③水洗い、または固く絞った雑巾で水ぶきする。

どうしても落ちない目地の黒ずみは、目地専用の塗料（＊39）でおおい隠すという方法もあります。

〈注意〉塩素系カビ取り剤を使う場合は、換気をよくして使用するようにしてください。また、酸性の浴室用洗剤といっしょに使用しないこと。有毒な塩素ガスが発生して非常に危険です。

＊38「カビバック・グリーン150」

＊39「メジリフレ」

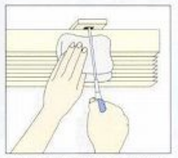
●設備の汚れやカビは…

住まいの洗剤やカビ取り剤を使って落とします。掃除がしにくい場合は次の手順ではずして掃除します。

【ブラインド】

①上部ブラケットのプラスチックフックを、マイナスドライバーで引き出す。

②本体を押し上げて手前に引く。フックに小さく「PUSH」とあるものは、指で押せばはずれる。



本体にキズをつけないよう、布を当てて作業するとよい。

ブラインドにはいろいろなタイプがあります。ここでご紹介したタイプ以外の「はずし方・はめ方」は、29ページをご参照ください。

【換気扇カバー】

ネジ式とはめ込み式があり、ネジ式は、ネジをドライバーでゆるめるとはずれます。

はめ込み式はカバーの下の面にある切り込みに指をかけ、手前に引きます。切り込みがないものは、マイナスドライバーをカバーと壁の間に入れ、同様にはずします。



カバーの下の面にある小さな切り込みに指をかけてはずす。

毎月定期的に行うお掃除

外釜循環パイプ

●2つ穴タイプは

下の穴から入った水が加熱されて高温のお湯になって上の穴から出るしくみです。湯の循環スピードが遅いので、どうしてもパイプ内に湯アカがつきやすくなります。

【2つ穴タイプの掃除法】

①下の穴のフィルターをはずす。

②ホースの先を下の穴からパイプ内に向け、勢いよく放水する。これを2、3回くり返す。

③フィルターも水で洗っておく。

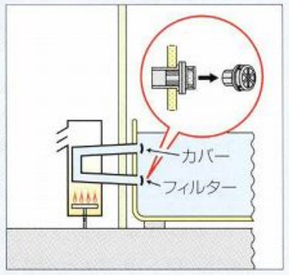
このほか風呂釜用洗剤（＊40・＊41）を使って取る方法もあります。

＊40「モルクリーン・バス」

＊41「スーパージャバ」

●1つ穴タイプは

ポンプを使い、一つの穴で吸入と排出を行う強制循環です。湯の循環スピードが速いのでパイプに湯アカはつきませんが、フィルターだけは月に一度は洗っておきましょう。



2つ穴タイプを掃除するときは、下穴のフィルターをはずす。

排水口

●排水口のゴミは…

排水口は、髪の毛などのゴミをトラップにためて排水管に流さないしくみ。ここにゴミがたまると水の流れを妨げ、悪臭の原因にもなるので、排水口の蓋をはずして、中を掃除します。悪臭があるときは、市販のパイプ用洗剤（＊31）や漂白剤を流し込みます。

＊31「パイプマン（分包）」

●エイジレスバスでは

段差を解消したエイジレスバスには、排水口が2ヶ所（水栓側、出入口側）あります。出入口側の排水口を掃除する際は、スノコ（グレーチング）下の排水溝もいっしょに掃除しましょう。

【排水口の掃除手順】



割り箸を目皿の中に入れ、目皿を持ち上げてはずす。



ビニール袋に手を入れて、中のゴミをつかみ、袋を裏返して捨てる。



トラップを左右に回してはずし、歯ブラシ等で汚れを落とす。

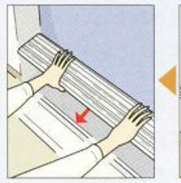
【エイジレスバス（出入口側）】



グレーチング（スノコ）を両手で持ち上げてはずし、中の溝と排水口を掃除する。



扉下レール部分がグレーチング。はずすときは扉を片側に寄せて持ち上げる。



グレーチングは脱衣室側から先にはめ込むと、スムーズに取り付けられる。

＊印の商品はハーモネートショッピングクラブで扱っています。＊印の商品はホームセンターなどでお求めください。どちらもP.36～37で詳しくご紹介しています。

トイレ・洗面

トイレや洗面は、いつも気持ちよく使いたいところです。汚れをためず、いつも清潔にしておきましょう。水洗のトラブルが起こったら、すぐに点検して直すようにしましょう。



ここをチェック！

- □ 便器の内側周囲やふちが水アカで茶色くなっていないか。
- □ ロータンクの水はきちんと出て、きちんと止まるか。
- □ 水の流れ具合はいいか。
- □ 洗面ボールに石鹸カスの汚れがついていないか。
- □ 洗面カウンターに水アカがついていないか。
- □ 蛇口のメッキがくもったり、黒ずんだりしていないか。
- □ 鏡に水ハネのあとがついたり、くもったりしていないか。

ふだんのお手入れ

トイレ

便器は陶製です。時間が経って汚れがこびりつくと、簡単には落とせませんから、こまめなお手入れが大切です。

1日1回は、水を流しながら便器の内側をトイレブラシでこすり洗いしておきましょう。とくに洗浄水の出る穴の周囲や、水たまりのふち、水たまりの底などは汚れがつきやすいので、多少念入りにこすります。同様に、週に一度トイレ用中性洗剤をつけてこすっておけば、汚れがこびりつくことはまずありません。

便器のふちや外側は水ぶきできれいにします。（トイレ用ふき取りシートも便利）

洗面

洗面ボールやカウンターは陶器または人造大理石でできています。ここにつく汚れは、水アカや石鹸カス、体の皮脂など。トイレと同じく、汚れをこびりつかせないことがポイントです。

使用後は、洗面ボールにぐるりと水をかけ、カウンターに飛び散った水滴や石鹸をふき取りましょう。

週に一度は、スポンジなどに浴室用洗剤をつけて汚れをこすり落とし、その後に水洗いします。



洗面もトイレも、汚れをためず、こまめにお掃除することが大切。

【便座】
便座は樹脂製です。ふだんは固く絞った雑巾でふくだけにします。トイレ用の洗剤は便座を傷めるものもあるので使わないようにしましょう。汚れたら台所用の中性洗剤を薄めたものでふき、その後は水ぶきします。

【蛇口】
週に一度、からぶきします。表面がくもってきたら、練り歯ミガキをつけて磨くときれいになります。

蛇口の先端のストレーナー（網目状のろ過装置）には水中の細かいゴミが付着します。ストレーナーは指で回せばはずれますから、1～2ヶ月に一度はずして、歯ブラシで掃除しておきましょう。

【鏡】
ふだんはからぶき。化粧水などがはねたら、住まいの洗剤でふき取ってから、水ぶきします。月に一～二度は鏡用クリーナー（＊42）、またはガラスクリーナーでふいておきます。

きれいにした後、くもり止めコート剤（＊43）を塗っておくと、ある程度くもりを防ぐことができます。

＊42「鏡のクリーナー」
＊43「鏡のくもり止め」

【給・排水管】
夏の暑いときや冬の暖房時には給・排水管の外側が結露してサビの原因となります。気づいたらすぐ乾いた布でふき取りましょう。月に一度防サビ剤（＊3・＊4）を塗布しておくとサビつきにくくなります。

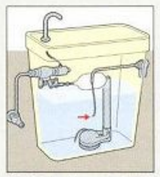
＊3「シリコンスプレー」
＊4「クレCRC 5-56 1002」

トイレのトラブル対処法

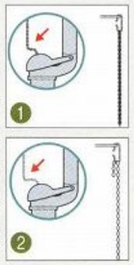
水が出ないときは、まず断水・凍結などを確認してください。そのどちらでもないときは、止水栓を閉めてから、次の作業を行いましょう。

●チェーンがはずれていたら
アームとチェーンがはずれていたら、まず手でフロートバルブを開けてタンク内の水を流してから、左上図の要領でチェーンをかけ直します。

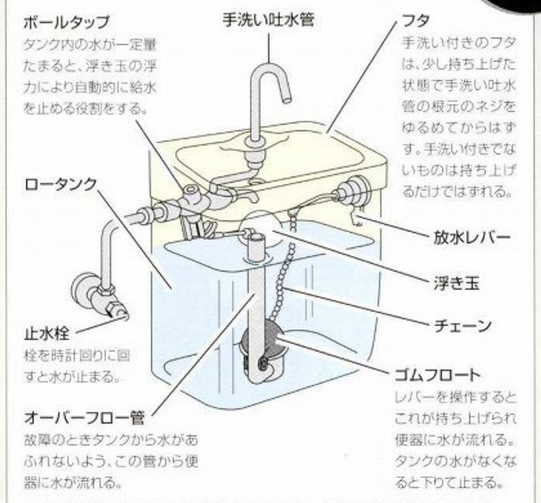
●チェーンが切れていたら
新品チェーンと交換するか、とりあえずの応急処置として、針金などでつないで直します。この場合は、長くは持ちませんので、早めに新しいチェーンを用意して直しましょう。



針金などでつなぐ応急処置。



フロートバルブの上で、リング状チェーン（①）は2輪くらい、ボール状チェーン（②）は4球くらいたるませてセットする。



※タンクにはいろいろなタイプがありますが、しくみはさほど違いありません。

水が止まらないとき

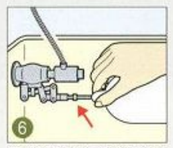
水が止まらないときは、最初に止水栓を開けたままで、タンクの水位を確認してください。水面が、オーバーフロー管の先端より下にあれば（図①）、チェーン、フロートバルブのトラブル。水面が高く、棒に潤滑防サビ剤（＊3・＊4）を吹き付けます（図③）。

レバーが正常であれば、チェーンがからんでいないかを確認し、からんでいるようなら直します（図④）。

フロートバルブがはずれていたら、アーム部分を軸の突起にしっかりはめ込んでください（図⑤）。

●②の場合は
浮き球の支持棒がはずれたり、ゆるんでいないかを確認。ゆるんでいたら固定ナットを締めます（図⑥）。

＊3「シリコンスプレー」
＊4「クレCRC 5-56 1002」



浮き球の支持棒がはずれたりゆるんでいたら、固定ナットを締めて取り付ける。



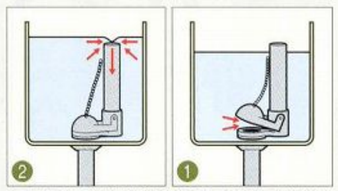
はめ込んだ後、2～3度操作してきちんと開閉するかを確認。



チェーンのからまりをほぐし、フロートバルブがきちんと閉まるか確認。



タンクの内側から、心棒に潤滑防サビ剤を吹き付ける。



タンク内の水位を確認するときは、止水栓は開けたままで。

汚れの落とし方

トイレや洗面の汚れは、こびりついてしまうと、洗剤でも落ちにくくなります。ガンコな汚れは次のようにお掃除しましょう。

●洗面ボールの汚れは
超微粒子クリーナー（＊28）で、ある程度きれいにできます。

①スポンジをぬらし、よく絞る。
②スポンジに超微粒子クリーナーをつけ、やさしくこする。
③充分水洗いまたは水ぶきする。

＊28「ニューハイホーム」



<注意>超微粒子でも、目に見えないキズがつき、使用後表面の光沢が失われる場合があるので、目立たないところで試してから使ってください。

●便器についた汚れは
便器内に水中の鉄分が付着し、筋状の汚れになると、簡単には落ちません。まず、右の洗面ボール同様、超微粒子クリーナーで落とします（古い歯ブラシを使うと便利）。それでも落ちないときは、左図のように耐水サンドペーパー（1200番程度）を使います。



割り箸にサンドペーパーを巻きつけ、石鹸をつけてやさしくこする。最後に水を流して、石鹸分を洗い流す。

＊印の商品はハーモネートショッピングクラブで扱っています。＊印の商品はホームセンターなどでお求めください。どちらもP.36～37で詳しくご紹介しています。

窓

窓の外側はホコリや泥がつきやすいところ。汚れが軽いうちに、こまめに落としておきましょう。きれいな窓は、住まい全体を明るく清潔な印象にします。

ここをチェック！

- □ 窓ガラスに汚れがこびりついていないか。
- □ サッシ枠に泥がこびりついたり、プツプツと白いサビが出ていないか。
- □ レールの隅にホコリや泥がたまっていないか。
- □ サッシに傾きはないか。開閉はスムーズか。
- □ クレセント（サッシ錠）はきちんとかかるか。

ふだんのお手入れ

窓の外側にホコリや泥がこびりつくと、落とすのはひと苦労。でもお掃除をらくにするコツがあります。

①汚れはこびりつかないうちに、こまめに落とす。

②汚れは、雨の後に湿気で汚れがゆるんだときに落とす。

③体に負担をかけない便利な道具を利用する。

これだけで、窓掃除にかかる時間も労力もかなり違ってきます。

窓ガラス（外側）

週に一度、ポリバタキかやわらかい布で、ホコリや泥を払います。

月に一～二度（雨風の多い季節は汚れ具合に応じて）、お湯で絞った布でふき、その後からぶきします。ガンコな汚れは、住まいの洗剤を薄めたものをつけてふき、その後に水ぶき、からぶきをしてください。

窓ガラス（内側）

週に一度、ポリバタキかやわらかい布でホコリを払います。お湯ぶきは、季節に1回程度でよいでしょう。ただし、キッチン、浴室の場合は、次の点に注意してください。

キッチン…調理で飛び散った油がついています。油汚れは住まいの洗剤か台所用洗剤を水で薄め、布につけてこすり落とし、その後に水ぶき、からぶきをしましょう。ガラス面に凸凹がある飾りガラスは、ナイロンタワシや歯ブラシを使って落とします。

浴室…窓に水滴がついたままにしておくと、ゴム枠のカビの原因になります。入浴後は水滴をふき取りましょう。

ゴム枠

結露などが原因で、ガラスの縁のゴムに黒いカビがつくことがあります。そんなときは、カビ取り剤（＊38）をつけて少し時間をおき、歯ブラシなどでカビをこすり落とした後、水ぶきします。

＊38「カビパック・グリーン150」

〈注意〉

ゴム部分にあまり頻繁に塩素系カビ取り剤を使用すると、ゴムの劣化につながります。

サッシ枠

ふだんのお手入れや汚れの落とし方は内外ともガラスと同じ。ガラスといっしょにお手入れしておきましょう。

レール部分はサッシ用ブラシ（＊44）か歯ブラシで、ホコリや泥を掃き出すか、掃除機の細口ノズルで吸い取ります。レールの隅の汚れは、割り箸の先にボロ布を巻きつけ、水で濡らしてこすり落とします。水で落ちないときは、住まいの洗剤を薄めたものをつけ、その後に水ぶき、からぶきをします。

サッシ枠にキズがついたら、同系色のアクリル樹脂塗料（＊8）を塗れば、目立たなくなります。

＊44「ニューサッシブラシ」

＊8「サッシ用補修ペン」

〈注意〉

ワイヤーブラシなど固いものは、サッシにキズをつけるので使わないこと。酸やアルカリの強い洗剤、塩素系漂白剤も使わないようにしてください。

サッシの建て付け調整

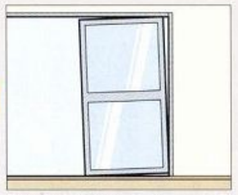
戸車の調整

●サッシが傾いていたら

サッシを閉めたとき、上か下に少しでもすき間ができるようなら傾いている証拠。サッシがレールと平行になるように戸車のネジを回し、サッシの高さを調整します。

戸車調整ネジは、サッシ側面に付いています。右に回せばサッシが持ち上がり、左に回せば下がります。様子を見ながら少しずつネジを回してください。

〈注意〉サッシを下げすぎると、上部レールからはずれる危険があります。上部レールに6ミリはかかるようにしてください。



サッシ側面下部のネジのうち一番下のネジを回して調整。

サッシを閉めたとき、上と下どちらにすき間があるか確認。

クレセントの交換

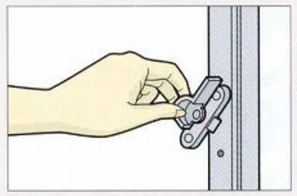
●クレセントが破損したら

かかりにくいクレセントを無理に締めていると、負担がかかり破損することがあります。

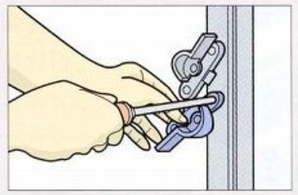
そんなときは、住宅タイプに合ったクレセントを取り寄せ（＊45）、下の要領で交換してください。クレセントにはたくさんの種類がありますから、お手元の「住宅部品カタログ」で確認の上、ご注文ください。

色や形が違っても、交換方法はすべて同じです。

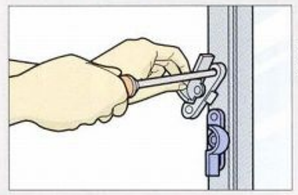
＊45「窓サッシ錠の交換セット」



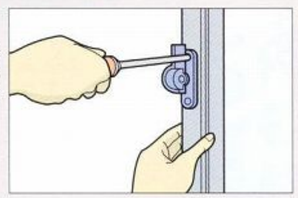
下のネジをはずし、上のネジを少しだけゆるめ下の穴を出す。



下の穴に新しいクレセントの下のネジを軽く留める。



古いクレセントを完全にはずす。



新しいクレセントを回転させ、上下のネジをしっかり締める。

クレセントの調整

●クレセントがかかりにくいときは

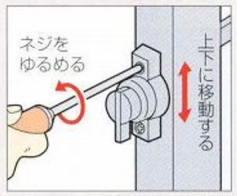
クレセント（サッシ錠）をかける際、きつかったり、クレセント受けにぶつかるようなら、「クレセント本体」または「クレセント受け」の位置を移動します。

上下に移動したい場合は「クレセント本体」のネジをゆるめて動かし、左右に移動したい場合は「クレセント受け」のネジをゆるめて動かし、調整後再びネジを締めておきます。

〈注意〉クレセントのネジはゆるめるだけではずさないこと。裏金具がサッシ内に落ちてしまうタイプもあります。



クレセント受けの2つのネジをゆるめ、右または左に移動。



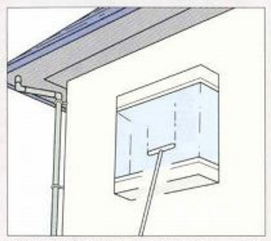
クレセントの2つのネジをゆるめ、上または下に移動。

特殊な窓の掃除

●高い位置にある窓は

トップライトや階段の窓、そして2階の出窓やはめ殺し窓の外側は、手が届かずお掃除がしにくいところです。伸縮自在の柄が付いたモップやスクイージー（＊46）を使うとらくにお掃除できます。

＊46「高所ラクラクおそうじセット」



室外側は洗剤液をつけた後、スクィージーで上から下へ水滴をかき取る。

●ジャロジー（ルーバー）窓は

浴室やトイレに多いジャロジー窓は、ガラスの羽根を水平にすれば、室内側からガラスの両面をふくことができます。

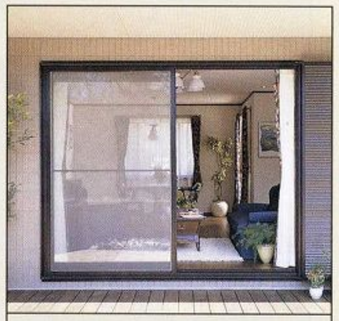


羽根を水平にすれば、ガラスの外側も室内側からふくことができる。

＊印の商品はハーモネートショッピングクラブで扱っています。＊印の商品はホームセンターなどでお求めください。どちらもP.36～37で詳しくご紹介しています。

網戸

網戸は雨風が直接当たるところ。
目立たなくてもホコリや汚れが
ついています。
さわやかに夏を過ごせるよう、
網戸の汚れはきれいに落とし、
建て付けなどの不具合も
直しておきましょう。



ここをチェック！

- □ 網にホコリや汚れがこびりついていないか。
- □ サッシ枠に泥がこびりついていないか。
- □ 網に破れやほつれがないか。
- □ レールの隅にホコリや泥がたまっていないか。
- □ 網戸の開閉はスムーズか。
- □ 網戸がレールからはずれることはないか。
- □ 戸車が摩耗したり破損していないか。

ふだんのお手入れ

網戸

ホコリを払う

網戸についた砂やホコリをそのままにしておくと、風といっしょに砂やホコリも室内に入り込んでしまいます。週に一度は、ポリバタキや網戸用ブラシ(＊47)などを使い、ホコリを払っておきましょう。

＊47「網戸ブラシ」

掃除機でホコリを吸い取る

掃除機を使う場合は、網戸の片面に新聞紙を貼り付け、反対側から網面に掃除機をかけると吸い取りやすくなります。ブラシ付きのノズルを使えば、さらにきれいに取ることができます。

網は力をかけすぎるとたるんでしまいます。ブラシでこすらなくてすむよう、こまめにポリバタキなどでお掃除しておくほうが長持ちします。

汚れの落とし方

網戸

ホコリや汚れがこびりついてしまったら、次の方法で落とします。

スポンジに洗剤をつけてふく

①2個のスポンジに住まいの洗剤を薄めたものをつけて軽く絞り、網を両側からはさむようにしてこする。ただし、力を入れすぎると網がたるむことがあるので、やさしくすること。

②その後、水ぶきして洗剤分をきれいに落としてから、さらにからぶきして水気を取る。

網戸をはずして洗う

①網戸をレールからはずす。

②水をかける前に、乾いたブラシなどでできるだけ砂やホコリを取り除く。

③住まいの洗剤を水で薄めたものを網戸用ブラシか洗車ブラシにつけ、軽くこする。

④ホースで水をかけ、洗剤をきれいに洗い流す。

〈注意〉

網は力がかかるとたるむことがありますから、勢いよく水をかけないでください。また、アルミのサッシ枠はアルカリに弱いので、アルカリ性の洗剤を使った場合はよく洗い流しましょう。

網戸のはずし方

通常の窓

①網戸サッシ上部にあるはずれ止めのネジをゆるめ(左ページ上段参照)、はずれ止めを下に下げる。

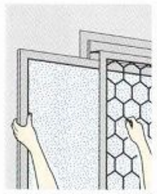
②障子や襖をはずす要領で、網戸を持ち上げながら下のレール、上のレールの順にはずす。

面格子付き窓

①通常の窓と同じように、はずれ止めを下に下げる。

②室外側から面格子の中に手を入れ、網戸をレールからはずす。

③はずした網戸を横または下にスライドさせ、面格子と外壁のすき間から取り出す。



このように網戸を横または下にスライドさせ、すき間から取り出す。

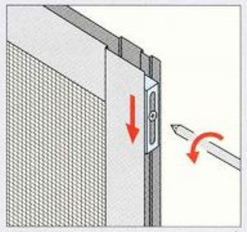
網戸の建て付け調整

はずれ止め調整

●網戸がはずれやすいときは

網戸は、強風などで簡単にはずれないよう、上部に「はずれ止め」が付いています。この位置が低過ぎると網戸がレールからはずれやすく、高すぎるとすべりにくくなります。はずれ止めが上部レールに5～6ミリかかる程度にセットしてください。

はずれ止めの形や仕様は住宅のタイプによって異なりますが、ネジの位置は左のいずれかです。ネジをゆるめ、はずれ止めがレールに5～6ミリかかる程度に引き上げてから、ネジをしっかり締めてください。



網戸の側面にネジがあるタイプ



網戸の室外側にネジがあるタイプ

戸車交換

●戸車が摩耗・破損していたら

新しい戸車(＊48)を取り寄せて交換します。

戸車には、ネジで止めるタイプと指で差し込むタイプがありますが、おおよそ次の4つのタイプに分類できます。

【ネジ止めタイプ】＝図①

固定ネジをはずし、新しい戸車に交換します。ネジは1ヶ所のタイプと2ヶ所のタイプがあります。

【差し込みタイプA】＝図②

戸車の位置にネジも穴もない図②のようなものは、ドライバーでこじるようにして戸車を引き出し、交換します。

【差し込みタイプB】＝図③

戸車の頭に高さ調整ネジがついているタイプは、ネジ釘などで両側のツメを押さえて取り出し、交換します。

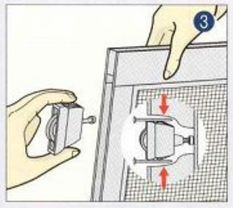
【差し込みタイプC】＝図④

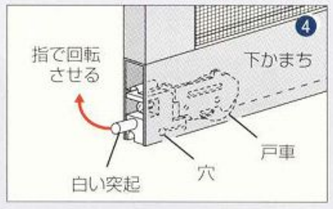
網戸下枠の端に小さな穴、側面に白い突起があるものは、突起を指で押し上げ、戸車を90度回転させてから、戸車を下に引っぱり出し交換します。

＊48「網戸の補修セット」









網戸の張り替え

●網が傷んできたら

網が破れたり、汚れが著しいときは、新しい網(＊49)に張り替えましょう。

①右ページの「網戸のはずし方」を参考に、はずれ止めを下げて網戸をはずす。

②はずした網戸を平らな面に置く。マイナスドライバーなどを使って古いガスケットを溝から取り出し、古い網をはずす。(このときサッシ枠全体を洗い、ガスケットの溝もきれいに掃除しておきましょう)

③新しい網をサッシより少し大きめに切り、網目と枠が平行になるようにして枠の上に広げ、ガスケットをはめ込む。

【ゴム製ガスケットの場合】

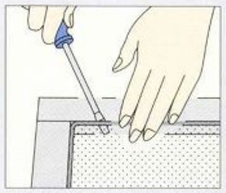
まずガスケットをピンと張って四隅と各辺の中心をはめ固定。網戸ローラーを使って網にたるみが出ないよう注意しながらはめ込む。

【プラスチック製(棒状)のガスケットの場合】

両手の親指で押しながらはめて固定し、最後に木片を当て金づちでたたいてはめ込む。

④余分な網をカッターで切って完了。網がたるんでいたら、ドライヤーの熱を遠目に当てるとピンとなる。

＊49「網戸の張り替えセット」



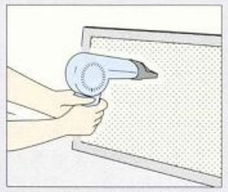
サッシ枠をキズをつけないよう注意してガスケットを取り出す。



ゴム製ガスケットは各辺の中心から角に向けてはめ込む。



棒状ガスケットは手ではめた後、木片と金づちではめ込む。



ドライヤーは近づけすぎないよう遠くから平均にかける。

＊印の商品はハーモネートショッピングクラブで扱っています。＊印の商品はホームセンターなどでお求めください。どちらもP.36～37で詳しくご紹介しています。

雨戸・シャッター

日中は収納しておくので
汚れに気づきにくい部分。
風雨にさらされ、
ホコリや泥ハネが
つきやすいところですから、
月に一度は次のような
点検をしましょう。



ここをチェック！

- □ 外側に泥がこびりついていないか。
- □ キズやサビがついていないか。
- □ 雨戸やシャッターのすべりが悪くないか。
- □ レールに泥や落ち葉がたまっていないか。
- □ 戸袋からの出し入れはスムーズか。
- □ 雨戸を閉めたとき、雨戸と雨戸の間にすきまができていないか。

ふだんのお手入れ

スチール製の雨戸は、積もった汚れがサビや腐食の原因にもなります。季節に一度、少なくとも半年に一度は念入りにお手入れをしましょう。

雨戸

週に一度くらい、やわらかい布でからぶきし、外側のホコリや砂を払いましょう。雨の後などの泥はねは固くしぼった雑巾で落とします。

半年に一度は、雨戸をはずしてこびりついた汚れを落としたいもの。ホースで水をかけながら、スポンジか洗車ブラシで汚れを洗い流します。ガンコな汚れは、中性洗剤をぬるま湯でうすめたものをスポンジにつけてこすり落とし、その後は水洗いしておきます。水気が乾いたら、全体にカーワックスを塗っておくと、ホコリや湿気がつきにくくなり、サビの予防にもなります。

レール

レールにたまった泥や落ち葉をブラシでかき出すか、掃除機の細口ノズルで吸い取ります。レールの隅は、割り箸の先にボロ布を巻きつけてぬらし、汚れをこすり落とします。その後潤滑剤(＊3・＊4)を吹きつけておくとすべりがよくなります。

＊3「シリコンスプレー」
＊4「クレCRC 5-56 1002」

戸袋

レールと同様に、泥や落ち葉を取り除いた後、内側に潤滑剤を吹きつけます。戸袋エンド(戸袋の一番奥)に念入りに吹きつけておくと、雨戸が出し入れしやすくなります。

戸車

表面についた汚れをふき取り、破損や摩耗がないかを点検します。とくに戸車の心棒に潤滑剤を吹きつけておくと、回転がよくなり、レールをキズつけることもありません。

シャッター

やわらかい布で水ぶきし、ホコリや泥を落とします。ガンコな汚れは、中性洗剤をぬるま湯でうすめ、スポンジでこすり落とし、さらに水ぶきします。レールやロック部分に潤滑剤を吹きつけておくと、すべりがよくなります。

サビは早めに補修

雨戸にキズがついたり、そこからサビが出た場合は、早めに手当てしておきましょう。



280～320番くらいのサンドペーパーで、サビを落とした後、サビや粉塵を取り除いてから同色系の水性塗料を少し厚めに塗る。



(注意) スポンジで汚れをこすり落とした後、ホースで水洗いする場合は、シャッターケースに水が入らないよう気をつけてください。

雨戸のはずし方

雨戸は住まいのタイプによって、2通りのはずし方があります。

●戸袋ガイドをはずして…

戸袋ガイドをはずし、戸袋から引き出してはずします。

①戸袋上下の2ヶ所にある戸袋ガイドのネジを抜き、ガイドを上下ともはずす。

②戸袋内の雨戸を横にスライドさせて取り出す。

ネジがさびて戸袋ガイドがなかなかはずれない場合は、潤滑剤を差し、しばらくおいてからはずしましょう。無理な力を入れてネジの山をこわさないようにしてください。



戸袋ガイドは、雨戸の上下2ヶ所にある。



ネジ山をこわさないように注意してはずす。

●レール上で持ち上げて…

ツーユーホームの一部のタイプでは、レール上で持ち上げてはずすことができます。

①雨戸を戸袋から出して、レールの中央付近へ移動する(上部レールの1ヶ所に、はずれ止め金具がついているのでその部分は避ける)。

②室外側からいったん上に持ち上げ、手前にはずす。



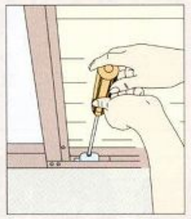
室外側に立ち、障子や襖をはずす要領で持ち上げてはずす。

戸車の高さ調整

雨戸には1枚に2個の戸車がついています。戸車の高さが不揃いだと雨戸はスムーズに移動しません。雨戸の内側の戸車上部に突き出ているネジで高低を調整します。

①ネジを右に回すと戸車が押し出され、雨戸は持ち上がる。

②ネジを左に回すと戸車が押し込まれ、雨戸は下がる。



雨戸とレールが平行になるように調整する。

戸車の交換

戸車が摩耗していたり、破損している場合は、2個とも同時に交換します。戸車ははめ込み式ですから簡単に取り付けられます。

①住まいのタイプに合った戸車(＊50)を用意する。

②雨戸をはずす。

③古い戸車は、木片を当て、金づちでたたき出す。

④新しい戸車を、外側から手で差し込み、金づちで軽くたたいて入れ込む。

＊50「雨戸用戸車」



ローラー部分はたたかないようにして入れ込む。

戸車のネジの両側を交互にたたく。雨戸を傷つけないよう木片を当てる。

落とし錠と鍵穴の調整

落とし錠のロック(鍵)棒と鍵穴がずれて、ロック棒が下りなくなることがあります。この場合は落とし錠(タイプによっては鍵穴)の位置をずらして合わせることで調整できます。

●落とし錠の位置を変える

①落とし錠の両側にあるネジをゆるめる。

②ロック棒を押しながらレール上の鍵穴位置を確認する。

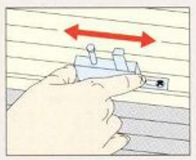
③鍵穴とロック棒が一致したら、その位置で落とし錠のネジを締めて固定する。

●鍵穴の調整は

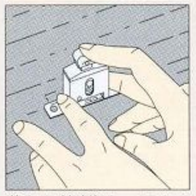
①鍵穴の両側の2つのネジをゆるめる。2つとも、ゆるめるだけではずさないこと。

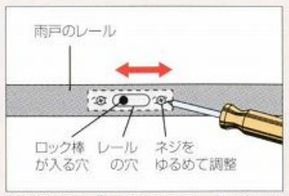
②鍵穴プレートが動くようになったら、鍵穴の位置を決める。プレートはドライバーなどを鍵穴にさし込んで動かすとよい。

③鍵穴の位置が決まったらネジを締めプレートを固定する。



落とし錠(住まいのタイプによって形状が異なる)を左右に動かしながらロック棒を押して鍵穴を確認。





鍵穴を少しずつ動かし、ちょうどよい位置を探す。

＊印の商品はハーモネートショッピングクラブで扱っています。＊印の商品はホームセンターなどでお求めください。どちらもP.36～37で詳しくご紹介しています。

カーテン・ブラインド

毎日床に掃除機をかけ、棚や桟をふいても、カーテンやブラインドは忘れがち。部屋の掃除をするついでに、ちょっと手を伸ばし、カーテンやブラインドのホコリも落としておきましょう。



ここをチェック！

- □ ひだにホコリがないか。
- □ カーテンレールやカーテンボックスの上にホコリがないか。
- □ タバコのヤニで布地が黄ばんでいないか。
- □ カーテンの裏側に結露によるシミ・カビがないか。
- □ タッセルが汚れていないか。
- □ ブラインドの羽根は汚れていないか。
- □ キッチンのブラインドに油汚れがついていないか。
- □ 浴室や洗面所のブラインドにカビがないか。
- □ ブラインドの開閉、上げ下げがスムーズにできるか。

ふだんのお手入れ

カーテン

週に一度、時間に余裕のある日を選び、掃除の前にハタキや洋服ブラシでカーテンやタッセルについたホコリを払い落とします。カーテンに直接掃除機をかけ、ホコリを吸いとるのもよいでしょう。

カーテンレールの上もホコリがたまりやすい場所です。固く絞った雑巾でホコリをふき取ります。「○曜日はカーテンの日」という具合に習慣にしてしまうと、案外おっくうにならずにできるものです。



ブラシのついたノズルをつけると、ひだの部分のホコリもらくにとれる。

【カーテンを長持ちさせるには】

ドレープカーテンは月に一度、少なくとも季節に一度は天気のよい日に外に干し、ふとんたたきの要領でたたいたり、ブラシをかけたりして、布の目につまったホコリをたたき出します。強くたたくと布の繊維を傷めるので軽めにたたきましょう。こうしておけば頻繁に洗濯をする必要はありません。洗濯回数が少なければ縮みや傷みも少なくなります。

ブラインド

ブラインドを下まで全部下ろした状態で羽根を閉じ、ハタキやハンドモップ、化学雑巾などでホコリを落とします。片面がすんだら羽根を回転させ、裏面も同様にしましょう。

部屋のブラインドは、月に一度くらい固く絞った雑巾で水ぶきをするとさらにきれいになります。ブラインドは汚れがこびりつくと何時間もかかる大仕事になってしまいます。長く美しく使うには、定期的なお手入れが大切です。



ブラインドクリーナー(＊51)を使えば、羽根をはさみ、左右に移動させるだけで両面のホコリがとれる。

キッチンのブラインドは油汚れ専用のウェットティッシュなどでこまめに油を落としておきます。浴室のブラインドは固く絞った雑巾でふきましょう。

なお、羽根で手を切らないよう軍手やゴム手袋をするとよいでしょう。

＊51「ブラインドクリーナー」

ロールスクリーン・ローマンブラインド

ふだんのお手入れはカーテンと同じ、ホコリを払い落とすだけです。ロールスクリーンは布に樹脂加工したもので洗濯ができませんが、ローマンシェードは布製ですから、カーテンと同じように絵表示に従って洗濯してください。



裏にダンボールなどの板状のものを当てると、羽根が揺れず、力を入れてふける。

カーテンの洗濯

●洗濯のタイミングは

レースのカーテンは少なくとも半年に1回、ドレープなどの厚地のものでも1年に1回は洗濯しましょう。

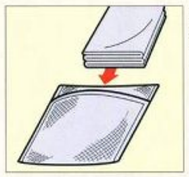
最近はポリエステルなどの洗える素材が多くなっていますが、水洗いできない素材（たとえば収縮率の大きい綿素材や、風合いが大切なウール系の素材）もあります。洗濯の前にカーテンの裏側についている洗濯絵表示と収縮率を確認しましょう。

手作りカーテンやオーダーカーテンなど、洗濯絵表示がない場合の目安は左表の通りです。素材がはっきりしない場合は、信頼できるクリーニング店で品物を見せて洗濯法を確認します。

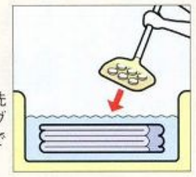
【家庭での洗濯の仕方】

①フックを全部はずす。
②洗いおけに洗剤液をつくり、軽くたたんで入れる。
③手で押し洗いする。
④すすぎは水を替えて同様に押し洗いする。
⑤軽く脱水し手早く取り出す。
⑥レースなど薄手のものは、そのまま元のカーテンレールに吊して自然乾燥。厚いものは外で干し、生乾きの状態になったらレールに吊す（こうするとシワになりにくい）。

洗濯機で洗う場合は、蛇腹状にたたんでネットに入れ、弱水流洗い。洗濯時間は大きさや素材で違いますが、薄いレースなどは2～3分です。



カーテンやタオルケット用の大きなサイズのネットに入れて洗濯機に。



大きなカーテンを洗うときは、バスタブに入れ、湯かき棒で押して洗う。

カーテンの種類と洗濯のしかた

種類	特徴	主な素材	水洗い	ドライ	洗濯回数
レース	透視性のある薄手のカーテン	ポリエステル	○	○	半年に1度
ケースメント	ドレープとレースの中間	ポリエステル	○	○	半年に1度
ドレープ	太い糸で織った厚手のカーテン	ポリエステル	○	○	1年に1度
		ウール系など	×	○	1年に1度
プリント	無地に模様を染めたもの	綿	×	○	1年に1度
特殊カーテン	特殊加工した遮光・遮熱カーテン	ポリエステル樹脂を裏打ちしたもの	○	○	1年に1度

洗濯絵表示の例



液温は40℃を限度とし、洗濯機による洗濯ができる。

液温は30℃を限度とし、手で弱く洗う（洗濯機は使用不可）。

水洗いはできない。

手絞りの場合は弱く、遠心脱水の場合は短時間で。

ドライクリーニング可。溶剤はパークロルエチレンまたは石油系を使用。

塩素系漂白剤による漂白ができる。

ブラインドの汚れの落とし方

こびりついた汚れやタバコのヤニ、浴室ブラインドのカビなどは、住まいの洗剤をスプレーするか、厚めの布にしみこませ、羽根を1枚ずつふいていきます。さらに雑巾で水ぶきして洗剤を落とします。

キッチンまわりの油汚れは、住まいの洗剤の代わりに台所用洗剤をつけて同様に落とします。

汚れがブラインド全体にこびりついたときは、はずして（左図参照）丸洗いすれば、すっきりきれいになります。

ブラインドのひもが切れたり、動かなくなった場合は、購入店かメーカーに相談してください。簡単に修理できる場合もあります。



はずしたブラインドを浴室の床に広げ、羽根を閉じた状態でスポンジで両面を洗い、ホースやシャワーで水洗い。

はずし方＆はめ方

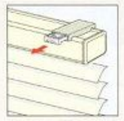
ブラインドは、窓枠に固定するブラケット（金具）のタイプによってはずし方が異なります。

【スライドロックタイプ】

スライドロックを引き出し、少し抵抗感のあるところから、さらにもう一段引き出し、ヘッドボックスの奥側から引き下ろします。



はまる音がするまで押し込んでセットする。



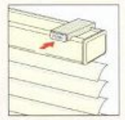
スライドロックを引いてはずす。

【プッシュボタンタイプ】

巻き上げたブラインドを片手で支え、もう一方の手でプッシュボタンを押しながら、ヘッドボックスの奥側を引き下ろすとはずれます。



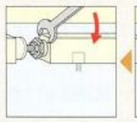
セットは先に手前を引っかけ、押し込む。



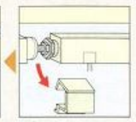
プッシュボタンを押してはずす。

【側面付けブラケットタイプ】

ブラケットカバーをはずし、ロックナットをゆるめます。はめるときは、もう一方の側を両面テープで仮止めすると作業がしやすくなります。



スパナでロックナットをゆるめてはずす。



ブラケットカバーをはずす。

【ボックスタイプ】

ブラケットの下部を押し下げてから手前の面を引き上げ、ヘッドボックスを落とさないように注意して取り出して、ブラインドをはずします。



ヘッドボックスを取り出してはずす。

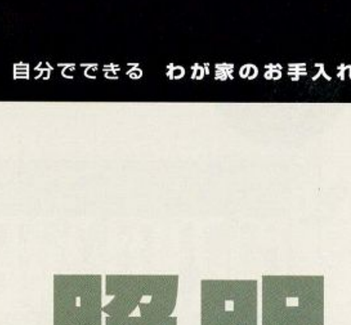


留め具の下からはずす。

＊印の商品はハーモネートショッピングクラブで扱っています。＊印の商品はホームセンターなどでお求めください。どちらもP.36～37で詳しくご紹介しています。

照明

高いところにある照明器具は、ホコリや汚れを見逃しがち。汚れたままにしておくと、明るさを損なうばかりか、目の疲労の原因にもなります。健康のためにも、こまめにお手入れしましょう。



ここをチェック！

- □ カバーや電球にホコリや汚れがついていないか。
- □ カバーの中に虫の死骸が入っていないか。
- □ カバーにひび割れや変形がないか。
- □ 器具の取り付け部にガタつきやゆるみはないか。
- □ 蛍光灯がチラついたり、両端が黒ずんだりしていないか。
- □ 異常な臭い・発熱はないか。
- □ スイッチ部分が手アカなどで汚れていないか。

ふだんのお手入れ

照明カバーやランプには案外ホコリや汚れがついているもの。一般に半年間のホコリで、10～30％明るさが低下するといわれています。汚れやすいキッチンなどはそれ以上です。月に一度、少なくとも季節に一度は、ホコリや汚れを落としましょう。

照明カバー

ふだんはハタキなど（＊18）でホコリを払っておきましょう。

プラスチックやガラスのカバーは月に一度は洗剤ぶきをしましょう。中性洗剤を溶かした水で雑巾を絞り、汚れをふき取ってから水ぶきします。

ふちにメッキ部分のあるものは水分がつくとサビや変色の原因になるので、乾いた布でよくふきます。木や竹、紙などのカバーは水ぶきできません。やわらかいハケやブラシでホコリを払いましょう。カバーの内側に虫の死骸が入っていたら、掃除機の細口ノズルで吸い取ります。

＊18「エレキャッチスター」

はずせるものははずして

キッチンは油汚れが、リビングやダイニングはタバコのヤニがつきやすいところ。はずせるカバーは、電源を切ってからはずし、ホコリを払った後、住まいの洗剤で洗うときれいになります。



洗剤をつけたスポンジで外側内側とも洗い、その後きれいに水洗いする。

ランプ

ランプは原則としてからぶき。汚れがひどいときはカバーと同様に洗剤ぶきします。このときランプの口金部分をぬらさないよう気をつけましょう。

白熱灯は、ホコリが積もるとランプの熱で燃える危険がありますから注意してください。

〈注意〉

照明の掃除は必ずスイッチを切り、



電球や蛍光灯本体をぬらさないよう、洗剤は必ず雑巾のほうにスプレーする。

カバーやランプが冷えてから行ってください。高所での作業ですから、脚立を使う場合は足元に気をつけましょう。

コード・チェーン

階段やダイニングのペンダント式照明は、コードやチェーンにもホコリがつきます。食卓の上でホコリが積もっているのは不衛生です。ハタキなどでホコリを落とし、常に清潔に保ちましょう。

スイッチ

スイッチカバーは手アカなどで汚れています。中性洗剤の溶液を少しつけて汚れをふき取り、その後に水ぶき、からぶきします。スイッチには電流が流れていますから、水ぶきするときは必ずブレーカーを切ってください。

ランプの交換

白熱灯は寿命がくるまで一定の明るさを保ちますが、蛍光灯は点灯時間の経過とともに明るさが低下して、チラツキも多くなります。一定時間使用したら交換したほうがよいでしょう。見てわかる交換の目安は、両端に黒ずみが現れたとき。黒ずみが出ると点灯しにくくなります。点灯しにくくなった蛍光灯は点灯時の消費電力も多くなるので、早めに交換したほうが経済的でもあります。

交換の際はランプの種類、ワット数を確認し、器具に合ったものを選びましょう。蛍光灯でグローランプ（点灯ランプ）付きのものは、グローランプも同時に交換しましょう。

●ランプ交換の手順は

①スイッチを切る。
②カバーをはずす。
③ランプを取り替える。
④カバーを取り付ける。
⑤スイッチを入れ、点灯するかどうかを確認する。

ランプの種類と取り替え時期

種類	平均寿命	取り替え時期の目安
白熱灯（60w）	1000時間	1年以内で1000時間経過時
直管蛍光灯（20w）	7500時間	4年以内で5000時間経過時
直管蛍光灯（15w）	5000時間	3年以内で3600時間経過時
環状蛍光灯（30w）	5000時間	3年以内で3600時間経過時

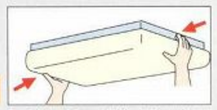
照明カバーのはずし方

カバーのはずし方は照明器具によって異なります。ここでは代表的なものを選び、はずし方を紹介しておきます。その他の器具については取り扱い説明書で確認してください。説明書がなく、はずし方がわからない場合は、無理をせずファミエスか電気店にお尋ねください。

プッシュ式



②カバーを下に引き下ろすようにしてはずす。



①カバーを持ちながら、両脇のボタンを押す。

※取り付けるときは、本体のボタンの位置にカバーのプッシュボタンを合わせて押し上げる。

ネジ込み式



①カバーを左に回す。



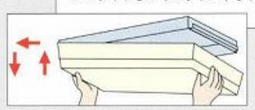
②カバーをはずす。

※取り付けるときは、カバーを右に回転させて本体にねじ込む。

落とし込み式



①カバーの一方を少し持ち上げ、横にスライドさせてから下に下ろす。



②カバーの一方が少し開いたら、もう一方を持ち上げて本体からはずす。

※取り付けるときは、逆の手順で片側を引っかけてから、もう一方も引っかける。

レバー式



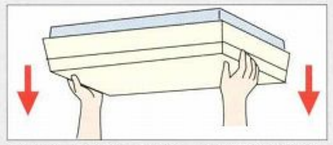
②カバーをはずす。



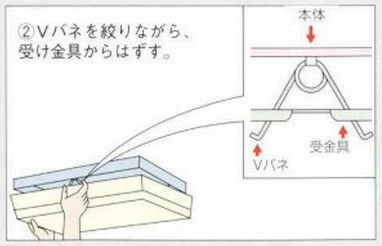
①レバーを右に動かす。

※取り付けるときは、レバーを右に引いてカバーをかぶせ、その後レバーを戻してセットする。

Vバネ式



①カバーを静かに下げて、すき間をあける。



②Vバネを絞りながら、受け金具からはずす。

※取り付けるときは、片方ずつVバネを絞りながらカバーの金具に通し、最後にカバーを押し上げて本体に固定する。

回転式

【壁付け】



①カバーを時計と逆回りに45°または90°回す。



②本体内の金具から、カバーがはずれる。

※取り付けるときは、カバー内側のくぼみと本体内部の金具が合うようにカバーをはめ込んでから、右（時計回り）に止まるまで回してしっかり取り付ける。

【天井付け】



①カバーを左方向に90°回転させる。



②カバーを固定している本体内部の取り付けバネからカバーがはずれる。

＊印の商品はハーモネートショッピングクラブで扱っています。＊印の商品はホームセンターなどでお求めください。どちらもP.36～37で詳しくご紹介しています。

外まわり

ふだんなかなか手入れをしない外壁やバルコニーなどの外まわり。風雨にさらされる場所なので、思いのほかホコリや汚れがつく場所です。季節に一度は総点検し、お手入れしておきましょう。



ここをチェック！

- □ 軒にクモの巣が張ってないか。
- □ 樋やポーチの柱などの金属部に汚れやキズがないか。
- □ 外壁に汚れやキズがないか。
- □ 北側や日陰の壁にコケやカビがないか。
- □ キッチン換気扇の下に油汚れがないか。
- □ 窓の下に雨水の汚れがないか。
- □ 手すりに汚れやキズがないか。
- □ バルコニーの床材がきれいか。
- □ バルコニーの排水口に枯れ葉やゴミがつまっていないか。
- □ 基礎通気口をふさいでないか。
- □ 基礎にコケが生えていないか。

ふだんのお手入れ

外壁

ハイムの外壁の多くは、硬質木片セメントやアルミ板に、アクリル系塗装やリシン吹き付け塗装をしたもの。ツーユーホームは、硬質木片セメントにアクリル系弾性塗装をしたものです。

どちらも水を吸いにくい素材ですから、ふだんのお手入れも水洗いが基本です。洗車用の柔らかいブラシやスポンジに水を含ませ、ホコリや汚れを洗い落とします。水洗いで落ちない場合は、ぬるま湯に溶かした中性洗剤を使い、最後に水洗いをしておきます。



外壁は年2回、キズ・カビをチェック。定期的な塗り替えが、住まいを長く美しく保つ大切なポイント（住宅タイプによっては塗り替え不要）。

日の当たらない北側の壁や、植え込みの近くの壁は、湿気などでカビやコケが生えやすいところです。予防策として、ふだんから周辺の植木をこまめに刈り込み、風通しをよくしておきましょう。

《注意》

固いもので強くこすると壁面にキズがつきます。金属タワシやワイヤーブラシは使わないようにしてください。

＊52「通水ブラシロング」



外壁を洗うには、ホースをつなぎ、水をかけながら洗えるブラシ（＊52）が便利。

金属製の柱や手すり

ポーチの柱や手すりなどには塩ビ鋼板やアルミが使われています。汚れやキズのつきにくい素材ですから、ふだんは水ぶきで充分。固く絞った雑巾で汚れをふき取ります。もし、表面の塗膜にキズ、ひび割れが生じた場合は、ファミエスへご連絡ください。

基礎

基礎は鉄筋コンクリート製です。とくにお手入れの必要はありませんが、コンクリートにコケやカビがついた場合はブラシで洗い落とします。床下換気口のまわりには通気を妨げるものを置かず、風通しをよくしておきましょう。ネズミや虫の侵入を防ぐ防虫ネット（＊53・＊54）もあります。

＊53「基礎換気口防虫ネット」（ハイム用）

＊54「基礎点検口防虫ネット」

バルコニー

バルコニーの床仕上げはデッキ材や人工芝などですが、どちらも手入れの仕方は同じです。ゴミや枯れ葉を取り除いて、水洗いをします。

手すりは、アルミ製で焼き付け塗装仕上げです。外壁の金属部分と同様に雑巾でふいておきます。



床と壁の間にゴミがたまると、排水を妨げ縦樋の詰まりの原因になるので、こまめに取り除くこと。

外壁のガンコな汚れの落とし方

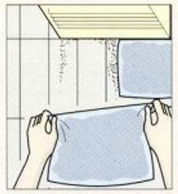
油汚れ

キッチンの換気扇の下の外壁にできます。ゴミやホコリが付着してガンコな汚れになります。

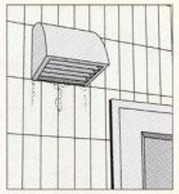
●油を浮き上がらせて

内外装用洗浄剤（＊13）や台所用洗剤をペーパータオルに染みこませ、油汚れの上に貼り付けます。汚れが浮き上がってきたらペーパーを取り除きスポンジでこすり落とします。

＊13「ストロング」



洗剤は原液のまま使うと効果的。



換気扇の下の油汚れは落ちにくいので早めにお手入れを。

雨水の汚れ

水洗いでは落ちないガンコな汚れは、汚れの種類に応じて、次のような方法で落とします。

外壁は面積が広い上、手の届かない高いところもあり、手入れは重労働です。いっぺんにやろうとしたり無理な姿勢で作業を続けると、身体を痛めたり、思わぬ事故を引き起こすこともあります。少しでもらくに作業ができるように、便利な道具を使い、計画を立てて安全に行いましょう。

雨水が窓枠や手すり伝いに壁に落ちるとできる黒い筋状の汚れは、手入れを怠ると出てきます。

●洗車の要領で

「ホワイト車専用の水アカ、汚れとりワックス」をスポンジにつけ、上からこするようにして落とします。

※使いやすいのは固形や半固形のものより液状タイプです。



ワックスをスポンジにつけ、上からこするようにして落とす。



放っておくと色が濃く落ちにくくなってしまうので注意。

カビ・コケ

日の当たらない外壁や、植え込み・鉢などで陰になる部分の壁は、カビやコケが生えやすいところ。定期的に点検し、見つけたらすぐに落としましょう。

●内外装専用の洗浄剤で

効果的なのは、建物の内外装用洗浄剤（＊13）を水で薄めて塗布する方法です。

①洗浄剤を水で10～20倍に薄め、スポンジにつけてカビやコケの上に塗布する。

②2～3分経ってから、やわらかいブラシかスポンジでこすり落とす。

③最後に水洗いをして、洗浄剤をきれいに落とす。

＊13「ストロング」



洗浄剤をスポンジにつけて塗布し、2～3分おいてこすり落とす。



洗浄剤は10～20倍に薄めて。ガンコなカビには少し濃いめで。



植木鉢と壁の間はなるべく広くとり風通しをよくする。

《注意》

●外壁は固いものでこすると、キズがつきます。必ずやわらかいブラシかスポンジを使用してください。

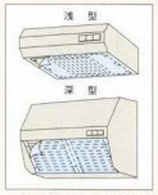
●高い場所を洗うために脚立などを使う場合は、地面の平らな部分に置いて固定し、足元に注意してください。

油汚れをつけない工夫

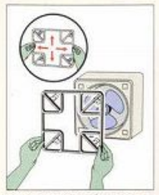
外壁の油汚れを防ぐには、できるだけ油分を排気口の外に出さないこと。キッチンの換気扇、レンジフードにフィルターをつけるだけで外壁の汚れはかなり防げます。

＊55「油とりカバー換気扇用」

＊56「油とりカバーレンジフード用」



レンジフードにはシート状フィルター（＊56）を切って、マグネットなどで固定。



換気扇のプロペラタイプには、伸縮自在の枠付きフィルター（＊55）が便利。

外壁の洗浄・塗り替え

外壁全体を洗浄すると、見ちがえるほどきれいになります。入居後5年を経過していたら、一度ファミエスにご相談ください。

また、時期が来たら、外壁全体の塗り替えが必要です。外壁塗り替えにおける最大のキーワードは「安心」。ていねいな施工とセキスイの住まいを知り尽くしたファミエスにおまかせください。

＊印の商品はハーモネートショッピングクラブで扱っています。＊印の商品はホームセンターなどでお求めください。どちらもP.36～37で詳しくご紹介しています。

相談室

「こんなときはどうするの？」…。
れた住まいに関するご質問に対し、
します。ぜひ参考にしてください。

フローリングのお手入れ法は…

Q フローリングのふだんのお手入れとワックスのかけ方を教えてください。

A まずふだんのお手入れの仕方からご紹介します。

■ふだんのお手入れ法

掃除機を板の目にそってかけて板の間のホコリを取り、フローリング用モップなどで細かいホコリを取り除きます。ただし、薬品の付いたモップは、ワックスの付着を悪くしますので使用しないでください。

また、フローリングは、からぶきが原則。水ぶきはしないようにしてください。板の継ぎ目から水がしみ込むと、表面の化粧板の反り、はがれの原因になります。どうしても水ぶきが必要な場合は、固く絞った雑巾を使用します。

そして、部屋の使い方にもよりますが、少なくとも3ヶ月、または半年に一度はワックスをかけましょう。ワックスが膜をつくって床の表面を保護するので、キズや汚れがつきにくくなります。

■ワックスのかけ方

①汚れや油分が残っているとワックスがのらないので、まず床面をきれいにします。水で薄めた床用のクリーナー(＊11)または住まいの洗剤を雑巾につけ、固く絞って汚れや油分をふき取ります。その後、水ぶきをして洗剤分を落とします。

②床が十分に乾いたら、風通しをよくして、乾いた布またはモップにワックス(＊9＊10)をつけて床に塗り広げます。

③15～30分おいてワックスを完全に乾かしてから、もう一～二度ワックスを重ね塗りします。部屋の隅などあまり歩かないところは重ね塗りしなくていいでしょう。

1～2年に一度、塗り重ねたワックスを除去剤(＊57)でいったんはがし、ワックスをかけ直すと、いつまでもフローリングを美しく保てます。

〈注意〉ワックスは必ず樹脂系のものを使用。抗菌フローリングには抗菌ワックス(＊10)を使います。

＊11「エコクリン」
＊9「プロテクトゼロ」
＊10「抗菌コート」
＊57「ワックス除去剤」


ワックスがけの前に、まず床についている汚れをきれいに落とすのがポイント。

セキスイ畳のお手入れは…

Q わが家の畳はセキスイ畳です。セキスイ畳のお手入れの仕方を教えてください。

A 基本的にはイ草の畳と同じ。ふだんは畳の目に沿って掃除機をかけ、乾いた雑巾でからぶきしておきます。

飲み物をこぼしたり、醤油などの汚れがついたときは、すぐに水ぶきをすれば落ちます。時間が経って水ぶきで落ちない場合は、住まいの洗剤を水で薄めてふいてください。

セキスイの畳表は天然材とプラスチックの合成材で、水をよくはじき、湿気に強いのが特徴です。イ草の畳と違ってカビが生える心配もないので、水ぶきもOK。

畳床も藁床ではなく、インシュレーションボードを使った化学床です。昔のように畳を干してばんばんと叩く必要はありませんが、年に一度畳をはずして風に当て、畳床にたまった湿気を取り除くと、より清潔に保てます。

キッチンの油汚れは…

Q レンジにこびりついた油汚れに苦労しています。力まかせにこすれば、キズがつきそうだし…。何かいい方法はありませんか。

A まず、ゴトクなどはずせるものははずしてつけ置き洗いをします。つけておくことで汚れがゆるみ、落としやすくなります。

①大きめの容器にぬるま湯を入れ、台所用洗剤かつけ置き洗い用洗剤を溶かします。

②30分以上つけ置き、汚れがゆるんだらこすり落とし、最後に水洗いします。

レンジのはずせない部分には住まいの洗剤を吹き付けて、「湿布」します。

①汚れの上に住まいの洗剤、または業務用強力洗浄剤(＊13)を吹き付け、ラップかティッシュペーパーをかぶせて30分以上おきます。

②汚れがゆるんだらボロ布でふき取り、さらに水ぶきをしておきます。

＊13「ストロング」


洗剤を吹き付けた後、ラップをかぶせて湿布すると汚れがゆるんで落としやすい。

なんでも

「お手入れの仕方がわからない」
このページでは、皆さまから寄せら
詳しいお手入れの仕方をご紹介

シャッターが重くなり注油したいが…

Q 入居して13年、シャッターの上げ下げが重くなってきました。注油したいのですが、上部のシャッターボックスは簡単にはずれません。どうしたらよいでしょうか。

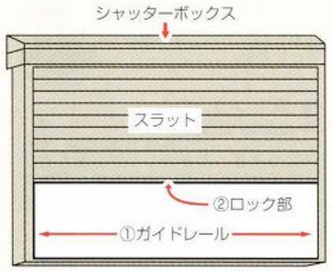
A シャッターが重くなったときは、ガイドレールに潤滑剤(＊3・＊4)をスプレーします。上部のシャッターボックスをはずす必要はありません。

下の図で示すように、スラットの左右にはガイドレール(溝)があります。ここに潤滑剤をスプレーしておけば、スラットが通過するたびに潤滑剤がシャッターボックス内のレールにも行き渡ります。何回か上げ下げするうちに、スムーズに動くようになるでしょう。

ガイドレールに潤滑剤を塗るときは、ロック部にもスプレーしておいてください。鍵の開閉もスムーズになります。

なお、ご質問に「注油」とありましたが、油ではなく必ずシリコン系の潤滑剤を使ってください。油を塗ると、ベタベタしてかえってホコリや砂がつきやすくなり、逆効果です。

＊3「シリコンスプレー」
＊4「クレCRC 5-56 1002」



左右のガイドレールと、ロック部に潤滑剤をスプレーする。

サッシレールの掃除法は…

Q 窓のサッシのレールに砂ボコリなどがたまってしまい、掃除機をかけても雑巾でふいてもきれいになりません。よいお手入れ法はありませんか。また、ホコリがこびりつかないようにする方法があれば教えてください。

A 最初からぬらした雑巾でふいたり、水を流してしまうと、砂ボコリを固めてしまい、かえって取りにくくなります。水ぶきする前に、こびりついたホコリを取るのがポイント。

まず、サッシ用ブラシ(＊44)か歯ブラシ、または先端を斜めに削った割り箸で、レールの隅にこびりついたホコリをかき出し、掃除機の細口ノズルで吸い取ります。

次に掃除機で取りきれなかったホコリをふき取りますが、雑巾ではレールの溝の隅までふくことができません。小さく切ったボロ布を湿らせ、先を削った割り箸に巻き付け、レールに沿って端から端までふいていきます。落ちにくいようなら住まいの洗剤をつけてふいてください。その後水ぶきすればきれいになります。

仕上げに、ふき取り不要のカーワックスを薄く塗っておくのもポイント。カーワックスのコーティング効果で汚れのこびりつきを防止し、お掃除しやすくなります。

＊44「ニューサッシブラシ」


サッシ用ブラシ。ブラシの反対側はレールの隅の掃除に便利。

浴室のカビの取り方は…

Q お風呂のゴムのパッキン部のカビに困っています。カビの取り方を教えてください。

A ご相談のゴムのパッキン部というのは、洗い場と壁の境目や、浴槽と壁との境目のコーキング部(すき間をふさぐ充填剤)のことのようです。コーキング部はゴムに似た弾力性のある素材(シリコン)です。ここにしみ込んだカビは、一般のカビ取り剤では、なかなか落とすことができません。

おすすめしたいのは、ゼリー状の塩素系カビ取り剤(＊38)。液体と違いカビの上に長時間滞留し、徐々に浸透するので、しみ込んだカビもかなりきれいにすることができます。次の要領でお手入れしてみてください。

①マスキングテープで周囲を保護してから、カビの上にゼリー状のカビ取り剤を塗ります。

②30分から1時間おいて、カビが取れたら水で洗い流します。様子を見て、カビが落ちていなければ、さらに塗って1時間おきます。

〈注意〉塩素系カビ取り剤を使うときは必ず窓を開けて換気すること。また塩素系カビ取り剤と酸性の洗剤はいっしょに使わないこと。有毒ガスを発生して大変危険です。

＊38「カビパック・グリーン150」


ゼリー状のカビ取り剤をカビの上にたっぷりと塗りつける。

掲載商品のご紹介

本誌でご紹介したお手入れ用品や洗剤を一覧にしました。説明の最後にある「玄関」「キッチン」などの表示は、どこのお手入れにおすすめの商品かを示したものです。ご購入方法は、右頁下をご参照ください。



*1 木製玄関用ワックス セラリカクリーム (100g)
KS035 ¥3,150



ホルムアルデヒドがまったく出ない植物成分100%のワックス。ドア、床、家具などあらゆる木部に使えます。

玄関 室内建具 和室 キッチン

*2 石床用樹脂ワックス(屋内用・1000ml)
M0633 ¥1,449



玄関内側の石床専用のワックスです。

玄関

*3 シリコンスプレー (420ml)
M6303 ¥1,050



ドアや扉のきしみを防止し、すべりの悪くなった戸車の動きをスムーズにします。

玄関 トイレ・洗面 雨戸

*4 クレCRC 5-56 1002 (320ml)
呉工業 ¥1,050

多用途、多機能の潤滑剤。防サビ効果もあります。

玄関 雨戸 トイレ・洗面

*5 パッチャルペンシル 8色
M7506他 1本 735円



フローリングや木部のキズを直すクレヨンタイプの補修剤です。

玄関 和室 洋室・階段

*6 住まいのマニキュア (1cc×10本)
M0203 ¥1,995



床、木製品の小さなキズに便利な筆ペンタイプの補修剤です。

玄関 和室 洋室・階段

*7 Ecoハードスティック(1個8g)
M7551他 1個 ¥504



フローリングや木製品のへこみの補修に適した耐久性抜群の補修剤。スプーンの上で溶かして流し込み、ヘラで仕上げます。

玄関 洋室・階段

*8 サッシ用補修ペン
M0205他 1本 ¥1,260

サッシのキズや汚れに便利な補修用のペンです。ブラック、ブロンズ、シルバー、ホワイトの4色用意しています。

窓

*9 プロテクトゼロ (1000ml)
M0641 ¥2,835



シックハウス症候群嫌疑物質や有機リンを使用しない環境と健康を第一に考えたワックスです。

洋室・階段

*10 抗菌コート(1000ml)
M0623 ¥2,835

ノビのよさと美しい光沢が評判の抗菌床用ワックスです。

洋室・階段

*11 エコクリン(1000ml)
M0624 ¥1,680

ワックスがけ前の汚れ落としだけでなく多用途に使える環境にやさしいクリーナー。

洋室・階段

*12 ハングリーウォーター (500ml)
M0705 ¥1,680

汚れとにおいを瞬時に分解し、包み込んで落とす電解アルカリ洗浄水です。

洋室・階段

*13 ストロング
1000ml M07011 ¥4,200
4000ml M0701 ¥10,290

外壁から室内の汚れまで取るプロ御用達の洗剤です。

洋室・階段 キッチン 外まわり

*14 クロスの補修キットローラー付き
M0204 ¥1,554



クロスの穴埋め材(3色)、のり、消しゴム、ヘラ、ハケ、ローラーのセットです。

洋室・階段

*15 白木専用洗剤 (500ml)
M0631 ¥535

デリケートで汚れやすい白木専用の汚れ落とし剤です。

和室

*16 白木用ワックス (700ml)
M0630 ¥829

白木専用のワックスです。美しさがよみがえります。

和室

*17 アクレス (2000ml)
M0703 ¥7,140

木材についたシミやアク、サビなどによる変色を取り去り、白木を美しく保つクリーナー。

和室

*18 エレキャッチスター
M7202 ¥2,604



静電気の力でホコリをキャッチ。照明やエアコン、OA機器のお手入れに便利です。(柄は取り外し自在)

障子 照明

*19 障子張り替えセット
900mmM7601 ¥2,625／1300mmM7602 ¥4,725

障子の張り替えに必要な、障子紙・古い障子のはがし剤・専用のりのセットです。

障子

*20 カグスベール(トスベール)
ニチアス ¥368

すべりの悪いふすまや障子の下に貼るだけですべりがよくなるシールです。

障子

*21 敷居スベリ (21mm×20m)
M7401 ¥1,365

貼るだけで敷居のすべりがよくなるテープです。

障子

*22 ピカール (300g)
日本磨料工業 ¥368

金属専用のみがき剤です。くすんだ金属の汚れもピカピカになります。

室内建具

*23 レバーハンドル
P7002他 ¥3,675

レバーハンドルの交換用ハンドル部品です。住宅によりタイプが異なります。

室内建具

*24 レバーハンドル台座セット
P8001他 ¥4,620～¥6,825

レバーハンドルの交換用台座付きセットです。住宅によりタイプが異なります。

室内建具

*25 片引き戸車
P1501 他 ¥157～¥630

片引き戸のガタツキは戸車交換で直せます。レールの型が2タイプあります。

室内建具

*26 クロゼットドアスパナ
ZKS115 ¥157

1本で8、10、12、13mmのナットに使えるスパナ。どのタイプのクロゼットにも対応できます。

室内建具

*27 勝手口レバーストッパー
P15051 他 ¥1,260(2つ穴)～¥1,470(4つ穴)

勝手口ドアの交換用ストッパーです。

勝手口ドア

*28 ニューハイホームセット
M0402 ¥3,150



ミクロの粒子で汚れを落とす自然派の万能クリーナーとスポンジ(各3個)のセットです。

キッチン 浴室 トイレ・洗面

*29 IHヒーターよごれとり(23g)
MK005 ¥924



IHヒーターのトッププレート専用のクリーナーです。(消しゴムタイプ)

キッチン

*30 トッププレート用クリーナー (124ml)
MK002 ¥1,470

クリームタイプのIHトッププレート用クリーナー。

キッチン

*31 パイプマン(分包)(20g×10包)
ライオン ¥400程度

パイプ内に投入するだけでつまり・悪臭の原因である汚れやバイ菌をスッキリ解消。パイプや浄化槽を傷めず安心です。

キッチン 浴室

*32 流し台排水口部品
P1260他 ¥336～¥1,890

フタゴム、アミカゴ、ステンレス目皿などの排水まわりの部品です。古くなって傷んだり、汚れが落ちなくなったら取り替えましょう。

キッチン

*33 銅バスケット・銅トラップ
M4701他 ¥3,360

バスケットやトラップを銅製にかえて、ぬめり・悪臭・目詰まりを追放しましょう。

キッチン

*34 流し台排水ホース
P1301他 ¥399～¥1,260

交換用排水ホースです。古くなって傷んだり、汚れが落ちなくなったら取り替えましょう。

キッチン

*35 コンフォートキッチン清水器カートリッジ
TH637RR ¥3,580



平成9年8月以降ご入居のコンフォートキッチン専用のカートリッジです。交換目安は約6ヶ月。

キッチン

*36 アンダーシンク浄水器カートリッジ
S7001 ¥15,225／2回目以降S7002 ¥13,125



アンダーシンク浄水器専用のカートリッジです。年1回の交換をおすすめします。

キッチン

*37 かび止めZ (420ml)
M4504 ¥1,155

ヒノキチオールの働きでカビの発生を防ぎます。効果は6ヶ月間持続します。

浴室

*38 カビバック・グリーン150
M4506 ¥924



液だれしない粘着性の高いゼリータイプのカビ取り剤です。スプレータイプと違い飛び散りません。

浴室 窓

*39 メジリフレ (200g)
INAX ¥1,155



タイルの目地に塗りこむだけで、汚れやカビを防ぎます。目地の色に合わせホワイト、グレー、ブラックの3色があります。

浴室

*40 モルクリーン・バス (4000ml)
M6839 ¥5,040



風呂釜内部の汚れを落とす洗浄剤です。年に一度の洗浄でパイプの中もスッキリ。お湯を清潔に保ちます。

浴室

*41 スーパージャバ (150g)
ジョンソン ¥627

使いやすいグリップ式で風呂釜内の隠れた湯ドロを、元からとります。

浴室

*42 鏡のクリーナー (45g)
M6993 ¥662



浴室、洗面所の鏡の汚れをとる鏡専用のクリーナーです。適量を鏡に付け、ティッシュなどでよくのばし、ふき取ります。

浴室 トイレ・洗面

*43 鏡のくもり止め (50ml)
M6991 ¥945



浴室の鏡のくもりを解消してくれるスティックタイプのくもり止めコート剤です。一度塗ったら効果は約2週間です。

浴室 トイレ・洗面

*44 ニューサッシブラシ
M68012 ¥399

サッシのレールにたまったゴミをサッと掃き出すサッシ専用のブラシです。しつこい汚れは柄でこそぎ落とします。

窓

*45 窓サッシ錠の交換セット
P0102A他 ¥1,050

窓サッシ錠が閉めにくくなったら、クレセントをセットで交換しましょう。

窓

*46 高所ラクラクおそうじセット
M0522 ¥7,800



高いところに便利なお掃除道具のセットです。ポールは190～450まで伸縮。天井払いヘッド、カラスワイパージャンボヘッド、エレキャッチ自在ヘッドがセットされています。

窓

*47 網戸ブラシ
M68011 ¥714



網戸の細かい目にブラシが行き届くよう工夫された網戸専用ブラシです。

網戸

*48 網戸の補修セット
P0301A 他 ¥1,050

網戸の建て付け不良は「戸車」や「はずれ止め」等を交換することで直せます。

網戸

*49 網戸の張り替えセット
P0211 他 ¥5,775～¥18,900

網戸に穴や傷みがあるときは、このセットで張り替えましょう。網幅900mmと1300mm(破れにくいペット対応は900mmと1200mm)があります。

網戸

*50 雨戸用戸車
TA001 他 ¥315

雨戸用戸車の部品交換で、雨戸の開閉がスムーズになります。

雨戸・シャッター

*51 ブラインドクリーナー
M68013 ¥714

スポンジとスポンジの間に羽を挟み、柄の部分を左右に動かすだけで一度に羽の表裏の汚れが落とせます。

カーテン・ブラインド

*52 通水ブラシロング
M6845 ¥1,932

ホースにつなぎ、水を流しながら洗えるブラシ。全長156cmと長いので外壁などの洗浄に便利です。

外まわり

*53 基礎換気口防虫ネット (ハイム用)
ZK001 ¥840

虫やネズミの侵入防止のため、基礎換気口に取り付ける専用金網です。

外まわり

*54 基礎点検口防虫ネット
ZK002 他 ¥3,570～¥3,990

基礎の床下点検口の専用金網。はめ込むだけで虫やネズミの進入を防止します。サイズを調整できるタイプもご用意しています。

外まわり

*55 油とりカバー換気扇用
M6816 ¥1,848

キッチン換気扇の油汚れを防ぐ油とりカバーです。

キッチン 外まわり

*56 油とりカバーレンジフード用
M68173 ¥2,415



レンジフードの油汚れを防ぐ油とりカバーです。

キッチン 外まわり

*57 ワックス除去剤 (2ℓ)
M0628 ¥3,129

塗り重ねた古いワックスの除去剤。床材を傷めにくく環境にもやさしい中性です。

洋室・階段

＊印の商品は、ハーモネート誌同梱の「ハーモネートショッピングクラブ」、または、「保存版住宅部品カタログ」のご注文ハガキ、FAX用紙、インターネット(一部商品は除く)でお申し込みください。＊印の商品は、お近くのホームセンター、DIYショップ等でお求めください。

http://www.e-shopping-club.com

＊印の商品のお問い合わせは
フリーダイヤル **0120-355-816**

上記の商品および価格(税込み)は、平成18年11月現在のものです。